

**第 2 期大分県スポーツ推進計画
～チャレンジ！おおいたスポーツプラン2021～
の進捗状況について**

1	『第2期大分県スポーツ推進計画』 具体的取組に係る担当課一覧	1
2	目標指標の達成状況	3
3	項目別テーマ進行管理表	

基本目標Ⅰ 生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成

1	ライフステージに応じたスポーツの推進	
(1)	幼児期・少年期におけるスポーツの推進	5
(2)	青年・壮年期におけるスポーツの推進	7
(3)	高齢期におけるスポーツの推進	9
(4)	ライフステージに応じたスポーツイベントの推進	11
2	誰もが気軽に取り組めるスポーツの推進	
(1)	障がい者スポーツの推進	13
(2)	女性のスポーツ活動の推進	15
3	総合型地域スポーツクラブの育成・支援・活用	
(1)	総合型地域スポーツクラブの推進	17

基本目標Ⅱ 県民スポーツを支える環境づくりの推進

1	「みる」「ささえる」スポーツの充実	
(1)	「みる」「ささえる」スポーツの推進	19
(2)	スポーツボランティア活動の推進	21
2	スポーツ活動の場の充実	
(1)	地域の特性を活かした活動の場の充実	23
(2)	学校体育施設の充実と有効活用	25
(3)	スポーツ施設の整備・充実と支援体制の整備	26
3	スポーツを支える組織や体制、仕組の充実	
(1)	スポーツ情報の収集と提供	28
(2)	行政組織の連携とスポーツ関係団体の充実	30
(3)	企業におけるスポーツ活動の推進	33
(4)	スポーツに関する顕彰制度の充実	35

基本目標Ⅲ 世界に羽ばたく選手の育成

- | | |
|--------------------------|----|
| (1) 競技力向上のための組織の整備・充実 | 36 |
| (2) 競技力向上に向けた指導體制の充実・強化 | 37 |
| (3) 競技力向上に向けた発掘・育成・強化の推進 | 38 |
| (4) 競技力向上に必要な諸条件の整備 | 40 |

基本目標Ⅳ スポーツによる地域の元気づくり

- | | |
|----------------------------|----|
| (1) 国際スポーツ大会等の誘致 | 42 |
| (2) スポーツ文化の定着とスポーツツーリズムの推進 | 43 |
| (3) ラグビーワールドカップ2109のレガシー継承 | 44 |

第2期大分県スポーツ推進計画具体的な取組に係る担当所属一覧表

基本目標	分野別施策	項目別テーマ	具体的な取組	企画	福祉保健		教育			体育保健課内					
				芸術文化スポーツ振興課	おおいした創生推進課	健康づくり支援課	高齢者福祉課	障害者社会参加推進室	教育財務課	義務教育課	体育保健課	管理予算	学校保健・食育	学校体育	生涯スポーツ
I 生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成															
1 ライフステージに応じたスポーツの推進															
(1) 幼児期・少年期におけるスポーツの推進															
			①幼児期からの子どもの体力向上方策の推進						◎	◎			●		
			②学校における体育授業等の充実							◎			●		
			③スポーツ環境の整備・充実							◎			●		
			④スポーツ少年団等における指導環境の充実							◎				●	●
			⑤スポーツに関わりの少ない子どもへの働きかけの推進							◎			●	●	
			⑥食育の充実							◎			●		
(2) 青年・壮年期におけるスポーツの推進															
			①職場におけるスポーツ活動の推進			◎				◎				●	
			②地域におけるスポーツ活動の推進			◎				◎				●	
			③これまでスポーツに関心がなかった人への働きかけの推進			◎				◎				●	
			④関係団体と連携したスポーツ環境の整備・充実			◎				◎				●	
(3) 高齢期におけるスポーツの推進															
			①地域における高齢者の健康・体力づくりの推進			◎				◎				●	
			②指導者の養成とプログラムの普及			◎				◎				●	
			③これまでスポーツに関心がなかった人への働きかけの推進			◎				◎				●	
			④健康・体力づくりなどの情報提供			◎	◎			◎				●	
(4) ライフステージに応じたスポーツイベントの推進															
			①少年期のスポーツイベントの充実					◎		◎				●	●
			②青・壮年期のスポーツイベントの充実			◎		◎		◎				●	
			③高齢期のスポーツイベントの充実				◎	◎		◎				●	
2 誰もが気軽に取り組めるスポーツの推進															
(1) 障がい者スポーツの推進															
			①障がい者のスポーツ機会の拡充					◎		◎				●	
			②障がい者スポーツの環境整備					◎		◎				●	
			③障がい者スポーツの競技力向上					◎							
			④障がい者スポーツの優秀選手支援					◎							
(2) 女性のスポーツ活動の推進															
			①女性がスポーツを楽しむための環境の整備							◎				●	
			②スポーツ団体における女性役員の登用促進への支援							◎				●	●
			③女性指導者の積極的な育成					◎		◎				●	●
3 総合型地域スポーツクラブの育成・支援・活用															
(1) 総合型地域スポーツクラブの推進															
			①中間支援組織（広域スポーツセンター等）による総合型クラブの質的充実支援							◎				●	●
			②市町村等と連携したクラブの創設と活動エリアの拡大							◎				●	●
			③総合型クラブおおいネットワークとの連携							◎				●	●
			④総合型クラブの自立と「登録・認証制度」への対応に向けた支援							◎				●	●
			⑤地域の健康づくり拠点化の推進							◎				●	●
			⑥「新しい公共」を担う総合型クラブの育成							◎				●	●
II 県民スポーツを支える環境づくりの推進															
1 「みる」「ささえる」スポーツの充実															
(1) 「みる」「ささえる」スポーツの推進															
			①世界・国内トップレベルのスポーツ大会の誘致と観戦促進			◎				◎				●	
			②子どもたちへの「みる」「ささえる」スポーツ機会の提供			◎				◎				●	
			③大会を支える審判員等の専門スタッフの育成							◎				●	
			④プロスポーツの推進			◎									
(2) スポーツボランティア活動の推進															
			①スポーツボランティアの啓発			◎				◎				●	
			②スポーツボランティアの発掘と育成			◎				◎				●	
			③スポーツボランティアの活用			◎				◎				●	

	企画	福祉保健			教育			体育保健課内						
	芸術文化スポーツ振興課	おおいいた創生推進課	健康づくり支援課	高齢者福祉課	障害者社会参加推進室	教育財務課	義務教育課	体育保健課	管理予算	学校保健・食育	学校体育	生涯スポーツ	競技力向上	県スポーツ協会
2 スポーツ活動の場の充実														
(1) 地域の特性を活かした活動の場の充実														
①豊かな自然を活かしたスポーツ活動の場の整備		◎						◎				●		
②身近で取り組めるスポーツ活動の場の整備		◎						◎				●		
③天然・自然環境を活用したスポーツプログラムの開発とその情報提供		◎						◎				●		
(2) 学校体育施設の充実と有効活用														
①学校体育施設・設備の整備・充実						◎								
②学校体育施設開放事業の促進								◎				●		
(3) スポーツ施設の整備・充実と支援体制の整備														
①県立スポーツ施設の維持・整備								◎		●		●		
②スポーツ環境を充実させるための施設運営								◎		●		●		
③支援体制の整備に向けた検討			◎	◎	◎			◎		●		●	●	●
3 スポーツを支える組織や体制、仕組の充実														
(1) スポーツ情報の収集と提供														
①スポーツ情報システムの構築		◎		◎	◎	◎		◎				●		●
②報道機関と連携した情報提供の充実		◎		◎	◎	◎		◎				●		●
(2) 行政組織の連携とスポーツ関係団体の充実														
①スポーツ推進体制の整備								◎				●		
②スポーツ関係団体におけるガバナンス向上の取組の推進						◎		◎			●	●	●	●
③スポーツ関係団体の整備・充実						◎		◎			●	●		●
④関係機関・団体と連携した安心・安全なスポーツ体制の確保						◎		◎			●	●	●	●
⑤研究機関・医療機関・大学との連携								◎				●		
(3) 企業におけるスポーツ活動の推進														
①スポーツの推進に向けた企業との連携・協力							◎	◎				●	●	●
②地域貢献活動の推進				◎		◎		◎				●		●
(4) スポーツに関する顕彰制度の充実														
①顕彰制度の充実						◎		◎				●	●	●
III 世界に羽ばたく選手の育成														
(1) 競技力向上のための組織の整備・充実														
①競技団体や学校体育団体等の活性化								◎				●		●
②年代や競技の枠を超えた連携体制の整備								◎				●		●
(2) 競技力向上に向けた指導体制の充実・強化														
①公認スポーツ指導者資格の取得を通じた指導者の育成と資質の向上								◎				●		●
②強化拠点となる学校への適切な指導者の配置								◎				●		●
③競技者から指導者への好循環サイクルの構築								◎				●		●
(3) 競技力向上に向けた発掘・育成・強化の推進														
①ジュニア世代を対象としたスポーツ体験機会の拡大								◎				●		●
②関係団体と連携した一貫指導体制の構築								◎				●		●
③関係団体と連携した強化事業の充実								◎				●		●
(4) 競技力向上に必要な諸条件の整備														
①スポーツ医学の知見等を活用した支援体制の整備								◎				●		●
②アスリートが継続的に活動できる就職支援								◎				●		●
③広報活動の推進								◎				●		●
IV スポーツによる地域の元気づくり														
(1) 国際スポーツ大会等の誘致														
①大分スポーツ公園総合競技場等を活用した国際スポーツ大会等の誘致		◎												
②国際スポーツ大会等の事前キャンプの誘致と受け入れ		◎												
③キャンプ受入国との継続的な交流の推進		◎												
(2) スポーツ文化の定着とスポーツツーリズムの推進														
①国際スポーツ大会等の観戦や県民参加機会の創出		◎												
②市町村と連携した合宿チームへの支援と交流機会の拡大		◎												
③まちづくりや地域活性化の核となるスタジアムの実現		◎												
④スポーツツーリズムの推進		◎												
(3) ラグビーワールドカップ2019のレガシー継承														
①ラグビー文化の定着		◎												
②大分で試合を行った国・地域とのつながりを活かした取組の推進		◎												
③世界トップクラスの国際試合等の誘致		◎												

2 目標指標の達成状況

(1) 指標の達成率の評価基準

各指標の達成率は、以下の基準で評価する。

達成率	評価
① 100%以上	◎：達成
② 90%以上、100%未満	○：概ね達成
③ 80%以上、90%未満	△：不十分
④ 80%未満	×：著しく不十分

(2) 全体的な達成状況

設定数	達成	概ね達成	不十分	著しく不十分
11本	5本 (45.4%)	4本 (36.4%)	0本 (0.0%)	2本 (18.2%)

(3) テーマ別指標の達成状況

① 【基本目標Ⅰ】生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成

	内容	評価	目標値	実績値	達成率
R3	① 小5男子の全国調査における体力テストC以上の割合	○	82.7%	76.8%	92.9%
R3	② 小5女子の全国調査における体力テストC以上の割合	○	87.0%	84.0%	96.6%
R3	③ 中2男子の全国調査における体力テストC以上の割合	○	81.3%	76.6%	94.2%
R3	④ 中2女子の全国調査における体力テストC以上の割合	○	91.9%	90.1%	98.0%
R3	⑤ 20代から50代の定期的なスポーツ実施率	◎	44.1%	48.5%	110.0%
R3	⑥ 60代以上の定期的なスポーツ実施率	◎	52.0%	54.2%	104.2%
R3	⑦ 総合型クラブの会員数	×	18,880人	14,811人	78.7%

② 【基本目標Ⅱ】 県民スポーツを支える環境づくりの推薦

	内 容	評価	目標値	実績値	達成率
R 3	① 県立武道スポーツセンター 利用者満足度調査における 「大変良い」「良い」の割合	◎	83.6%	83.7%	100.1%

③ 【基本目標Ⅲ】 世界に羽ばたく選手の育成

	内 容	評価	目標値	実績値	達成率
R 3	① 人口1万人当たりの公認指 導者数	◎	20.1人	21.0人	104.5%
R 3	② 国際大会出場者数	◎	20人	29人	145.0%

④ 【基本目標Ⅳ】 スポーツによる地域の元気づくり

	内 容	評価	目標値	実績値	達成率
R 3	① 合宿等受入数	×	75,000人	24,000人 (暫定値)	32.0%

(4) 各指標ごとの詳細情報

※ 次項の項目別テーマ進行管理表に記載

基本目標	I	生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成	担当所属	義務教育課 /体育保健課
分野別施策	I	ライフステージに応じたスポーツの推進		
項目別テーマ	(1)	幼児期・少年期におけるスポーツの推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	①	幼児期からの子どもの体力向上方策の推進	④	スポーツ少年団等における指導環境の充実	
	②	学校における体育授業等の充実	⑤	スポーツに関わりの少ない子どもへの働きかけの推進	
	③	スポーツ環境の整備・充実	⑥	食育の充実	
R()点検・評価 で整理した 課題・改善点	①		④		
	②		⑤		
	③				
関連事業 (令和3年度)	事業名		予算額(千円)		
	①	スポーツ医科学事業	882	③ 学校部活動サポート援事業	40,307
	①	体力アップ推進事業	178	⑥ スクールヘルスサポート事業	1,651
	②	体力アップ推進事業	178		

2. 令和3年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○体育専科教員による、効果的な授業実践の普及を図った。「幼児期の運動あそび」について、体育専科教員が幼稚園に出向き教諭・保育士等と連携した取組を行った。</p>	<p>体育保健課/学校体育</p>
<p>具体的な取組②</p> <p>○小学校体育専科教員24名の配置、中学校体力向上推進校16校の指定により、市町村内全域の教員の授業力向上を図るとともに、運動の日常化に向け、学校全体で組織的に行う「一校一実践」に取り組んだ。</p>	<p>体育保健課/学校体育</p>
<p>具体的な取組③</p> <p>○教員の部活動指導にかかる負担軽減と経験者による指導の充実を図るため、公立中学校に部活動指導員を配置する市町村に対して助成をするとともに、県立学校については、試行的に配置した。また、生徒の持続可能なスポーツ環境を構築するため、部活動の地域移行についての調査研究を行った。</p>	<p>体育保健課/学校体育</p>
<p>具体的な取組④</p> <p>○園児(年長)～小学生(低学年)を対象に、民間スポーツクラブと総合型クラブが連携し、健康運動指導士やヘルスプロモーター(県教委認定)等の専門家を派遣し運動処方を行う「健康体力サポート教室」の開催を企画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組④</p> <p>○体罰等のハラスメント行為の根絶に向け、指導者の倫理観向上に向けた講演内容を設定し、県及び各教育事務所管内において計13回の研修会を実施した。また、令和2年度に本県独自の指導者制度を策定し、本研修会をスポーツ少年団に登録する指導者の更新研修として位置づけている。</p>	<p>県スポーツ協会</p>
<p>具体的な取組⑤</p> <p>○総合型クラブにおいて小中学生が気軽に取り組める運動・スポーツとして、「放課後運動教室」「ドッジボール教室」「タグラグビー」「ダンス」等の教室活動が実施された。県スポーツ協会のHPに総合型クラブのHPを掲載するなどし、情報発信を通じたスポーツ活動の参加促進に取り組んだ。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組⑤</p> <p>○生涯スポーツ協会の指導者派遣事業を小中学校や特別支援学校に呼びかけを行い、障がいの有無にかかわらず活動できる様々なスポーツの機会拡充に取り組んだ。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組⑥</p> <p>○スクールヘルスサポート事業の実施により、食習慣・生活習慣の改善、運動習慣の定着による肥満予防と中等度・高度の肥満改善等に取り組んだ。</p>	<p>体育保健課/保健食育</p>

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R3年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
児童の体力（総合評価C以上※の割合）小5男子	%	R1	82.4	82.7	76.8	92.9	○	R12	83.7	学校体育
児童の体力（総合評価C以上※の割合）小5女子	%	R1	86.9	87.0	84.0	96.6	○	R12	87.1	学校体育
生徒の体力（総合評価C以上※の割合）中2男子	%	R1	80.8	81.3	76.6	94.2	○	R12	83.4	学校体育
生徒の体力（総合評価C以上※の割合）中2女子	%	R1	91.8	91.9	90.1	98.0	○	R12	92.2	学校体育

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

具体的な取組①

体育保健課/学校体育

○体育専科教員の効果的な活用で、県内全域で授業改善が進んでいるが、新学習指導要領に対応した指導や児童の実態に応じた更なる工夫改善が必要である。

→県で開設したインターネット上の情報共有サイトの充実とともに、指導者研修会等により、小学校低学年の授業づくりについて、質の向上を図る。また、幼児教育センターと連携した取組を推進する。

具体的な取組②

体育保健課/学校体育

○全国との比較で、体力は、高い水準にあるものの、運動への愛好度が伸びていないことや運動する子どもとそうでない子どもの二極化が課題となっている。

→運動が苦手な子どもでも楽しめる授業や一校一実践の更なる改善が必要であり、各種事業や市町村と連携した会議において、指導の焦点化と具体化を図るよう指導する。

具体的な取組③

体育保健課/学校体育

○生徒のニーズに応える運動環境の整備と教職員の負担軽減に向けて、教職員に替わり指導できる外部人材の確保が課題となっている。

→生徒の多様なニーズ、教職員の負担軽減、生徒数の減少などの課題に対応するため、総合型地域スポーツクラブ等との連携による部活動の地域移行に向けた調査研究を推進する。

具体的な取組④

体育保健課/生涯スポーツ

○幼児期・少年期の子どもたちの運動・スポーツ実施が単一種目の競技実施に偏ることなく、遊びや多様な動きの経験による楽しさを実感することを通じて、運動の習慣化、日常化を図っていくことが課題である。そのためにも、総合型クラブと民間スポーツクラブやスポーツ少年団等のスポーツ団体が連携し、地域のスポーツ指導の環境づくりを行っていく必要がある。

→本年度中止となった健康運動指導士やヘルスプロモーター（県教委認定）等の専門家を派遣し運動処方を行う「健康体力サポート教室」の企画開催する。地域のスポーツ団体の連携を図り、子どもの参加だけでなく指導者にも見学などの参加を呼びかけるなどし、スポーツ医学の知見を活用した運動処方の実践に取り組むとともに、指導環境の充実を図る。

具体的な取組④

県スポーツ協会

○スポーツ少年団登録指導者の更新研修会と位置づけているため、今年度も多くの指導者が受講した。また、研修会後の事後アンケートにおいても、本研修会の意義や今後の指導のあり方について前向きな意見を回答している方が大多数であった。

→子どもたちのよりよいスポーツ環境の整備に向けて、来年度以降も研修内容の充実（講師の選定も含め）を図り、指導者やスタッフの意識改革を図っていきたい。

具体的な取組⑤

体育保健課/生涯スポーツ

○運動する子どもとそうでない子どもの二極化が依然としてあり、幼児期・少年期に遊びや多様な動きの経験による楽しさを実感することを通じて、運動の習慣化、日常化を図っていくことが課題である。

→引き続き総合型クラブの活動を支援するとともに、大学と連携し、子どもから大人まで誰もが気軽に取り組める魅力のある運動プログラムを提供できる指導者を育成するため、総合型クラブ関係者等を対象とした指導者養成講習会を企画開催する。その中に、親子で一緒に取り組める運動プログラムを盛り込むことで、子どもたちの運動機会創出の環境づくりに努める。

具体的な取組⑤

体育保健課/生涯スポーツ

○県内3校の小学校・2つの幼稚園・3校の特別支援学校から申請があり、ボールルームダンスやバウンドテニス、ポッチャ、スポーツチャンバラ、陸上、スポンジボールテニスの指導者を派遣した。初めて行なう種目にも楽しんで取り組む姿が見られた。

→次年度も、引き続き生涯スポーツ協会を通じて呼びかけを行い、スポーツに関わりの少ない子どもへスポーツの機会を提供していきたい。

具体的な取組⑥

体育保健課/保健食育

○教職員や保護者を対象に研修会や親子すこやか教室を開催したことで、健康課題に対する理解を深めることができたが、個別支援を希望する家庭が少ないことが課題である。

→中等度・高度肥満の改善には個別支援の希望者を増やすことが必要であり、教職員、保護者の理解を深めるための取組を推進する。

基本目標	I	生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成	担当所属	健康づくり支援課 /体育保健課
分野別施策	I	ライフステージに応じたスポーツの推進		
項目別テーマ	(2)	青年・壮年期におけるスポーツの推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	①	職場におけるスポーツ活動の推進	④	関係団体と連携したスポーツ環境の整備・充実	
	②	地域におけるスポーツ活動の推進			
	③	これまででスポーツに関心がなかった人への働きかけの推進			
R()点検・評価 で整理した 課題・改善点	①		④		
	②		⑤		
	③				
関連事業 (令和3年度)		事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	①	健康寿命延伸県民運動推進事業	3,014	③ 県立武道スポーツセンター管理運営費	165,319
	②	おおいた歩得健康ポイント推進事業	16,767	④ スポーツ医科学事業	882
	②	スクエアステップ指導者育成	3,451	⑥	

2. 令和3年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○健康寿命日本一おおいた創造会議を開催し、コロナ禍における職場の健康づくりの好事例を発信した。また、健康経営事業事業所の拡大を図ることで体を動かす取組を促進するとともに、健康アプリ「おおいた歩得」を活用し、職場対抗で歩数の増加を促す取組を行った。</p>	健康づくり支援課
<p>具体的な取組①</p> <p>○大分青年会議所の「地域の宝創造委員会」や大分銀行の「地域創造部」と総合型クラブ等スポーツ団体と連携したスポーツイベントの企画や参加促進の方法等について協議した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○健康寿命日本一おおいた創造会議を開催し、コロナ禍における地域の健康づくりの好事例を発信した。また、健康アプリ「おおいた歩得」を活用し、地域でグループをつくり、皆で健康づくりに取り組み体制づくりを推進した。</p>	健康づくり支援課
<p>具体的な取組②</p> <p>○青年・壮年の健康や体力に関する関心を高めるため、総合型クラブに健康運動指導士やヘルスプロモーター(県教委認定)等の専門家を派遣し、運動処方を行い、地域における運動・スポーツ機会の提供に努めた。また、スクエアステップの公認指導者養成講習会、スポーツ医科学に基づく指導ができるヘルスプロモーター(県教委認定)養成講習会を実施し、人材育成を図った。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○健康アプリ「おおいた歩得」を活用し、皆で運動に取り組む気運の醸成を推進した。</p>	健康づくり支援課
<p>具体的な取組③</p> <p>○県立武道スポーツセンターで初心者や高齢者も気軽に参加できるヨガやピラティス、軽スポーツ教室など多様なプログラムを低料金(ワンコイン程度)で提供した。また、働く世代も参加しやすい時間帯(19:30~)の教室も定期的に開催した。SCおおいたネットワークと連携し、同センターで総合型クラブ交流大会を企画したが、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となった。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組④</p> <p>○「みんなで延ばそう健康寿命」推進月間を活用し、運動をするきっかけとなるような環境づくりを推進した。また、運動習慣定着に向け、健康アプリ「おおいた歩得」のミッション機能を活用してウォーキング協会等各種団体のスポーツイベントの発信を行った。</p>	健康づくり支援課
<p>具体的な取組④</p> <p>○健康経営事業所や総合型地域スポーツクラブ等への専門職(理学療法士等)の派遣の基盤づくりの一環として、理学療法士等医療関係者に体力・運動能力の測定や運動処方を行うヘルスプロモーター(県教委認定)養成講習会への受講を呼びかけた。</p>	体育保健課/生涯スポーツ

3. 目標指標の達成度【CHECK (評価)】

目標指標	単位	基準値		R3年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
20代から50代の定期的なスポーツ実施率	%	R2	40.1	44.1	48.5	110.1	◎	R12	65.0	生涯スポーツ班

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION (改善)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○健康寿命日本一おおい創造会議は、多様な主体が協働して健康づくりを推進していくプラットフォームとして機能している。令和4年1月時点での健康経営事業所は2,080か所あり、更なる拡大を図る。また、健康アプリ「おおい歩得」を活用し、コロナ禍における新たな健康づくりの情報発信や感染対策を講じた上での運動イベントの開催など関係団体と連携した取組を実施した。</p> <p>→今後とも健康経営事業所と連携し、健康アプリ「おおい歩得」の機能を活用した職場ぐるみの健康づくりを推進する。</p>	健康づくり支援課
<p>具体的な取組①</p> <p>○総合型クラブにおける20代～50代の働く世代の総会員数に占める割合は30.2%と低迷しており、総合型クラブ等と連携した取組や事業所における健康づくりの取組が課題である。</p> <p>→スポーツ医学に基づく指導ができるヘルスプロモーター養成講習会（県教委認定）へ事業所の社員等の参加を働きかけるなど、事業所において健康づくり指導ができる指導者の育成を図る。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○健康寿命日本一おおい創造会議でコロナ禍における地域の健康づくりの好事例を発信した。また、健康アプリ「おおい歩得」のアプリ内で市町村の運動施設の利用をポイント付与の対象とすることで、地域の運動施設活用を地域でグループをつくり、皆で健康づくりに取り組み体制づくりを推進した。</p> <p>→無理なく楽しみながら歩くことを後押しできるようアプリ機能の充実を図る。</p>	健康づくり支援課
<p>具体的な取組②</p> <p>○ここ数年の取組により中高年の運動を指導する貯筋運動サポーター92名、スクエアステップエクササイズの公認指導者93名、ヘルスプロモーター（県教委認定）を47名養成している。しかしながら総合型クラブにおける20代～50代の働く世代の総会員数に占める割合は30.2%と低迷しており、これらの世代にとって参加しやすく魅力のあるプログラムの創出が求められる。</p> <p>→大学と連携し、子どもから大人まで誰もが気軽に取り組める魅力のある運動プログラムを提供できる指導者を育成するため、総合型クラブ関係者等を対象とした指導者養成講習会を企画開催する。その中に、親子で一緒に取り組める運動プログラムも盛り込むことで働く世代の運動機会を創出の環境づくりに努める。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○これまでスポーツなど体を動かすことに関心のなかった人に対しても、また、コロナ禍で外出がしにくい状況下においても、健康アプリ「おおい歩得」を活用して、運動ができるよう、ウォーキングにおいてバーチャル機能を追加した。</p> <p>→無理なく楽しみながら歩くことを後押しできるようアプリ機能の充実を図る。</p>	健康づくり支援課
<p>具体的な取組③</p> <p>○指定管理者等と連携した利用者アンケート等の実施により、利用者のニーズを反映した教室の充実が図られつつある。また、県内各地からの利用者が多くいる県立武道スポーツセンターを健康・体力づくりに関する情報提供の発信の場として活用していく必要がある。</p> <p>→アンケート等を活用したニーズ把握を継続し、ヨガ、ストレッチといったワンコイン教室をはじめ、スポーツ教室の内容の充実に取り組む。総合型クラブの活動状況等を掲載したパンフレットを県立武道スポーツセンターに内に置くなどし、利用者の目に留まるようにして、総合型クラブへの加入の促進を図る。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組④</p> <p>○コロナ禍であったが「みんなで延ばそう健康寿命」推進月間に健康寿命日本一おおい推進フォーラムを開催、街頭キャンペーンを実施するなど、各種団体、企業とともに健康づくりの気運醸成に努めた。</p> <p>→団体、グループで無理なく楽しみながら歩くことを後押しできるようアプリ機能の充実を図る。また、健康経営事業所と連携し歩得を活用した職場ぐるみの健康づくりを推進する。また、「みんなで延ばそう健康寿命」推進月間での取組を今後とも関係団体に働きかけを強化する。</p>	健康づくり支援課
<p>具体的な取組④</p> <p>○ヘルスプロモーター（県教委認定）養成講習会に理学療法士等医療関係者が6名受講し、認定を受けた。育成したこれらの人材を健康経営事業所へ派遣していく仕組みを構築していくことが課題である。</p> <p>→次年度も理学療法士等医療関係者にヘルスプロモーター（県教委認定）養成講習会への受講を呼びかけるとともに、認定者を健康経営事業所へ派遣する取組を行う。</p>	体育保健課/生涯スポーツ

基本目標	I	生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成	担当所属	健康づくり支援課 /高齢者福祉課 /体育保健課
分野別施策	I	ライフステージに応じたスポーツの推進		
項目別テーマ	(3)	高齢期におけるスポーツの推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	①	地域における高齢者の健康・体力づくりの推進	④	健康・体力づくりなどの情報提供
	②	指導者の養成とプログラムの普及		
	③	これまでスポーツに関心がなかった人への働きかけの推進		
R()点検・評価 で整理した 課題・改善点	①		④	
	②		⑤	
	③			
関連事業 (令和3年度)	事業名		予算額(千円)	
	①	明るい長寿社会づくり推進事業	7,986	② スポーツ医科学事業 882
	①	高齢者相互支援推進啓発事業	2,000	③ スクエアステップ指導者育成 3,451
	①	地域介護予防活動推進事業 介護予防推進事業	12,805 1,732	③ 地域介護予防活動推進事業 12,805
	①	県民すこやかスポーツ祭	1,725	④ 地域介護予防活動推進事業 介護予防推進事業 12,805 1,732
	①	おおいた歩得健康ポイント推進事業	16,767	④ スクエアステップ指導者育成 3,451

2. 令和3年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○大分県社会福祉協議会、市町村及び競技団体と連携し、豊の国ねんりんピックを開催するとともに、大分県老人クラブ連合会が主催する老人クラブスポーツ大会を支援。(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、両大会とも開催中止。) 様々な社会状況においても地域の仲間とのつながりや交流を維持しながら体操等の活動を継続できるよう、オンラインを活用した通いの場をモデル実施し、開催の手引きを作成する。 県内市町村と連携し、「めじろん元気アップ体操(運動機能向上プログラム)」を行う住民主体の通いの場の拡大・推進を行う。 また、介護予防活動のさらなる機運向上を図るため、運動(体操)を中心に活動している個人・団体を表彰する。</p>	高齢者福祉課
<p>具体的な取組①</p> <p>○県民すこやかスポーツ祭では高齢者にも親しみやすく参加しやすいウォーキング、グラウンド・ゴルフ、ゲートボール等の種目を50行事以上企画したが、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となった。また、総合型クラブにおいて、貯筋運動やスクエアステップエクササイズを定期的に開催した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○NPO法人と連携しスクエアステップエクササイズの公認指導者を13名養成するとともに、総合型クラブや市町村の体育施設で定期的な教室を開催した。また、体力測定や運動指導を行えるヘルスプロモーター(県教委認定)の養成講習会を実施し、24名が本年度資格取得をしている。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○大分県版フレイルチェックシート等を活用したフレイル予防の普及啓発を強化する。 高齢者の介護予防活動や社会参加の促進を図るため、県内モデル2箇所(大分市・中津市)において「セカンドライフを応援! からだ測定会」を開催する。</p>	高齢者福祉課
<p>具体的な取組③</p> <p>○高齢者の転倒防止や認知症予防に効果があるとされるスクエアステップエクササイズや県内43の総合型クラブの活動状況を紹介するパンフレットを10,000部作成し、市町村等を通じて配布するなどして加入促進に取り組んだ。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組④</p> <p>○高齢者の運動機会の増加に向け、健康アプリ「おおいた歩得」のミッション機能を活用して市町村や各種団体のスポーツイベント情報の発信を行った。</p>	健康づくり支援課
<p>具体的な取組④</p> <p>○フレイル予防や「めじろん元気アップ体操」「お口元気体操」の普及啓発媒体の配布等により、生活不活発病予防、口腔機能向上、栄養改善等の介護予防に関する情報を発信する。 住民主体の通いの場等の地域における効果的な介護予防活動の推進を図るため、リハビリテーション専門職等を派遣する。</p>	高齢者福祉課
<p>具体的な取組④</p> <p>○スクエアステップエクササイズ等の運動プログラムや、総合型クラブの活動状況を紹介するパンフレットを作成し、市町村を通じて配布した。総合型クラブで実施した健康運動指導士やヘルスプロモーター(県教委認定)等の専門家を派遣し運動処方を行う「健康体力サポート教室」の中で、福祉保健部が作成した「めじろん元気アップ体操(運動機能向上プログラム)」のパンフレットを配布し、その活用を参加者に講師が説明し促した。県民すこやかスポーツ祭では、チラシ、ポスター等を活用した広報を計画していたが中止により実施できなかった。</p>	体育保健課/生涯スポーツ

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R3年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
60代以上の定期的なスポーツ実施率	%	R2	50.7	52.0	54.2	104.2	◎	R12	65.0	生涯スポーツ班

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

具体的な取組①

高齢者福祉課

- 豊の国ねんりんピック、老人クラブスポーツ大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。住民主体の通いの場の参加率は16.3%で全国1位の実績であるが、概ね横ばい(やや減少傾向)である。また、男性の参加者は全体の4分の1であり、女性より参加が少ない傾向にある。
- 参加者の拡大に向け、今後も引き続き、市町村や競技団体と連携を図るとともに、感染症拡大防止対策を徹底する。引き続き市町村と連携して、通いの場の拡大・充実に向けた取組を進める。特に、地域の多様な介護予防活動を推進し、男性の社会参加促進につながる活動内容について優良事例の横展開を図る。

具体的な取組①

体育保健課/生涯スポーツ

- 令和3年度の体力・運動能力調査における高齢者の週1回以上の定期的なスポーツ実施者の割合は、54.4%と令和2年度県民実態調査(50.7%)から上昇している。また、大分県の健康寿命は男性が73.72歳で全国1位(H28前回調査:71.54歳・全国36位)、女性が76.60歳で全国4位(H28前回調査75.38歳、全国12位)と順位を伸ばした(厚生労働省:令和3年12月)。これまでの取組が健康・体力づくりにつながっていると評価できる。
- 県民すこやかスポーツ祭等のイベントを活用した健康・体力づくりに取り組むきっかけづくりと、総合型クラブでの健康教室等の日常的な運動実践機会の充実と提供を継続することにより、高齢者の健康・体力づくりを推進する。

具体的な取組②

体育保健課/生涯スポーツ

- ここ数年の取組により中高年の運動を指導する貯筋運動サポーター92名、スクエアステップエクササイズの大分県公認指導者93名、ヘルスプロモーター(県教委認定)等を47名養成し、毎年指導者数は増加してきた。総合型クラブに健康運動指導士やヘルスプロモーター(県教委認定)等の専門家を派遣し運動処方を行う「健康体力サポート教室」を実施した。資格を取得した者の活躍の場を総合型クラブに限定せず、地域に広げていくことが課題である。
- ヘルスプロモーター(県教委認定)養成講習会を引き続き開催し、指導者の育成を図るとともに、市町村や医療機関と連携し指導者を公民館や福祉施設に派遣する仕組みを構築することで、各種プログラムの更なる普及を図る。

具体的な取組③

高齢者福祉課

- 各市町村において大分県版フレイルチェックシートを活用し、フレイルまたはプレフレイルに該当する高齢者を介護予防活動等につなげる仕組みを構築しているところである。「セカンドライフを応援!からだ測定会」は、大分市40名、中津市56名が参加した。コロナ禍で、介護予防活動や社会参加につなげていない高齢者の呼び込みに苦慮したが、測定会を通じた参加者の意識醸成が図れた。
- 引き続き、市町村と連携し、大分県版フレイルチェックシートを活用した高齢者の意識醸成を図る。また、市町村における体力測定やフレイル健診をきっかけとした介護予防促進の事業展開を支援する。

具体的な取組③

体育保健課/生涯スポーツ

- 総合型クラブの60歳以上の会員数は、H28:6,258人、H29:6,704人、H30:6,823人、R1:6,531人、R2:6,154人となっている。令和2年の減少は新型コロナウイルス感染症の影響があると思われるが、広報活動の推進やスクエアステップエクササイズ等のプログラムの提供等が加入につながったと考えられる。
- 総合型クラブの活動状況の積極的な広報や、高齢者にも気軽に取り組める運動負荷の低いスポーツプログラムの提供を継続することで、高齢者のクラブへの加入を推進する。

具体的な取組④

健康づくり支援課

- 高齢者の運動機会の増加に向け、健康アプリ「おおいた歩得」のミッション機能を活用して市町村や各種団体のスポーツイベント情報の発信を行った。
- 市町村等と連携して、健康アプリ「おおいた歩得」の情報発信を積極的に行う。

具体的な取組④

高齢者福祉課

- 大分県版フレイルチェックシート(年間18,000部)、めじるん元気アップ体操パンフレット(年間10,000部)配布。めじるん元気アップ体操の動画は、再生回数22万回を達し、オンライン通いの場アプリ(厚労省の補助により国立長寿医療研究センターが開発)では、全国のご当地体操の中でアクセスランキング1位を維持している。市町村が行う介護予防ボランティア・サロンリーダー向け研修や通いの場支援においてリハビリテーション専門職等の関与が進んでいる(9市町33回派遣)。
- 引き続き、より効果的な体操の実践を含めた情報発信を行う。また、通いの場等への幅広い医療専門職の関与により、効果的なプログラムの実施を推進する。

具体的な取組④

体育保健課/生涯スポーツ

- 令和2年度のスポーツ実態調査から、高齢者の6割が健康・体力づくりに関する情報を求めていることや、市町村の広報や新聞・雑誌から情報を得ていることが明らかになっている。関係機関と連携した高齢者への情報提供が課題である。
- 市町村と連携した健康・体力づくりに関する情報の市報への積極的な掲載や、福祉保健課と連携した高齢者の集まりを活用した情報提供等の仕組みの構築に努めたり、健康アプリ「おおいた歩得」に総合型クラブの健康教室やイベント情報を掲載し活動参加を促したりするなどし、高齢者への情報提供を推進する。

項目別テーマ進行管理表

【様式1】

基本目標	I	生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成	担当所属	健康づくり支援課 /高年齢福祉課 障害者社会参加推進室 /体育保健課 /県スポーツ協会
分野別施策	I	ライフステージに応じたスポーツの推進		
項目別テーマ	(4)	ライフステージに応じたスポーツイベントの推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	①	少年期のスポーツイベントの充実			
	②	青・壮年期のスポーツイベントの充実			
	③	高齢期のスポーツイベントの充実			
R()点検・評価 で整理した 課題・改善点	①		④		
	②		⑤		
	③				
関連事業 (令和3年度)		事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	①	地域における障がい者スポーツ振興事業(日本パラスポーツ協会委託)	2,075	① 大分県スポーツ少年大会	176
	①	おおいた歩得健康ポイント推進事業	16,767	② 地域における障がい者スポーツ振興事業(日本パラスポーツ協会委託)	2,075
	①	県内協議別交流会	590	③ 地域における障がい者スポーツ振興事業(日本パラスポーツ協会委託)	2,075
	①	地域内(市町村)交流会	1,101		

2. 令和3年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○特別支援学校や総合型クラブなどと連携し、障がいのある子どもたちが身近な地域でスポーツを楽しめるよう、別府支援学校など県内各地で体験会や交流会を開催した。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組①</p> <p>○総合型地域スポーツクラブと連携し、サイクリング等のイベントを通じて家族ぐるみで参加できるシンボリックプログラムを企画した。また、生涯スポーツ協会の通じて、小中学校や特別支援学校に指導者派遣事業の呼びかけを行なった。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組①</p> <p>○感染症対策をとり、県内競技別交流大会や競技の枠を越えた県及び各地域内(市町村)交流大会等の多様な交流事業を実施した。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組②</p> <p>○コロナ禍においても、場所を選ばず家庭や職場等で運動できるよう健康アプリ「おおいた歩得」にバーチャルウォーキング機能を追加した。</p>	健康づくり支援課
<p>具体的な取組②</p> <p>○総合型クラブなどと連携し、障がいのある方が身近な地域でスポーツを楽しめるよう、杵築市など県内各地で体験会や交流会を開催した。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組②</p> <p>○県民スポーツ大会における参加選手数の減少の課題解決に向け、幅広い選手が参加できる制度「ふるさと選手制度」と「総合型クラブ登録制度」を本年度より導入した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○総合型クラブなどと連携し、障がいのある方が身近な地域でスポーツを楽しめるよう、杵築市など県内各地で体験会や交流会を開催した。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組③</p> <p>○県民すこやかスポーツ祭を5月～7月で開催予定とし、第74回県民体育大会を9月を主日程とする開催を予定した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R3年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

具体的な取組①

障害者社会参加推進室

- 特別支援学校や総合型クラブなどと連携し、県内各地で体験会や交流会を開催してきた（令和3年度体験会：特別支援学校8回、総合型クラブ6回など）。

→ 特別支援学校、総合型クラブ、障がい者施設など身近な地域にある場を活動拠点として、障がいのある子どもたちがスポーツに親しめる機会を拡大していく。

具体的な取組①

体育保健課/生涯スポーツ

- 総合型地域スポーツクラブが主体となって開催したシンボリックプログラムとして、サイクリングイベントには、子どもたちも家族ぐるみで数多く参加し、生涯スポーツ協会の通じて行なった、指導者派遣事業では、幼稚園や小学校から実施希望が集った。一部、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止になった学校もある。

→ 次年度も、是非開催したいと希望している幼稚園や小学校も多いことから、引き続きシンボリックプログラムや生涯スポーツ協会の指導者派遣事業は継続して取り組んでいきたい。

具体的な取組①

県スポーツ協会

- 感染症対策をとり、県内競技別交流大会や競技の枠を越えた県及び各地域内（市町村）交流大会等の多様な交流事業を実施した。

→ 昨年度に引き続き、活動制限がある中での事業の開催であったが、子どもたちのスポーツへの参加機会を確保することができた。今後も参加者が安全・安心に各種交流事業に参加できるよう、関係団体とも連携を図り、事業の充実を図りたい。

具体的な取組②

健康づくり支援課

- 健康アプリ「おおいた歩得」にバーチャルウォーキング機能の魅力アップが必要。

→ バーチャルウォーキングコースの充実を図る。

具体的な取組②

障害者社会参加推進室

- 総合型クラブなどと連携し、県内各地で体験会や交流会を開催してきた（令和3年度体験会：総合型クラブ6回、中津市身体障害者競技大会での支援など）。

→ 総合型クラブや障がい者施設など身近な地域にある場を活動拠点として、障がい者がスポーツに親しめる機会を拡大していく。

具体的な取組②

体育保健課/生涯スポーツ

- 本年度開催予定であった第74回県民体育大会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中になったが、「ふるさと選手制度」と「総合型クラブ登録制度」の導入で、ふるさと選手制度の登録者は103名、総合型クラブ登録制度登録者は、60名になった。

→ 次年度も継続して、「ふるさと選手制度」と「総合型クラブ登録制度」への呼びかけを行ない、青・壮年期のスポーツイベントへの参加が拡充できるようにしていきたい。

具体的な取組③

障害者社会参加推進室

- 総合型クラブなどと連携し、県内各地で体験会や交流会を開催してきた（令和3年度体験会：総合型クラブ6回、中津市身体障害者競技大会での支援など）。

→ 総合型クラブや障がい者施設など身近な地域にある場を活動拠点として、障がい者がスポーツに親しめる機会を拡大していく。

具体的な取組③

体育保健課/生涯スポーツ

- 幅広い年齢層で参加できる県民スポーツ祭、高齢者も参加できる県民体育大会においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から中止となった。

→ 引き続き、市町村や競技団体と連携してより多く高齢者が参加しやすい大会を準備するとともに、ホームページを活用して大会開催を発信することで参加者の拡大を図る。

項目別テーマ進行管理表

【様式1】

基本目標	I	生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成	担当所属	障害者社会参加推進室 /体育保健課
分野別施策	2	誰もが気軽に取り組めるスポーツの推進		
項目別テーマ	(1)	障がい者スポーツの推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【P L A N (計画)】

具体的な取組	①	障がい者のスポーツ機会の拡充	④	障がい者スポーツの優秀選手支援	
	②	障がい者スポーツの環境整備			
	③	障がい者スポーツの競技力向上			
R()点検・評価 で整理した 課題・改善点	①		④		
	②		⑤		
	③				
関連事業 (令和3年度)	事業名		予算額(千円)		
	①	地域における障がい者スポーツ振興事業(日本パラスポーツ協会委託)	2,075	③ 障がい者スポーツ団体振興事業	1,500
	②	初級障がい者スポーツ指導員養成講習会等(日本パラスポーツ協会委託)	611	③ 障がい者地域スポーツ活動支援事業	1,520
	③	大分県障がい者スポーツ大会開催事業	3,734	④ 障がい者スポーツ特別優秀選手支援事業(県障がい者スポーツ協会自主事業)	200
	③	全国障害者スポーツ大会派遣事業	6,559		

2. 令和3年度に実施した取組【D O (実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○総合型クラブや特別支援学校などと連携し、障がい者が身近な地域でスポーツを楽しめるよう、杵築市など県内各地で体験会や交流会を開催した。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組①</p> <p>○生涯スポーツ協会の指導者派遣事業について、特別支援学校や小中学校に呼びかけを行ない、様々なスポーツの機会拡充に取り組んだ。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○県障害者スポーツ指導者協議会等の主催により、初級指導者養成講習会の開催に向けて準備を進めたが、新型コロナウイルスの影響により講習会が実施できなかった。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組②</p> <p>○障がいのある児童・生徒に運動意欲を喚起することを目的としためじろんフィールド整備事業を継続し、特別支援学校10校のグラウンドにおいて生徒が安心して楽しめるよう肥料の散布や冬芝の施行等の維持・管理を行った。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○競技力向上を図るため県障がい者スポーツ大会の開催と全国障害者スポーツ大会へ選手団派遣を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりいずれも中止となった。車いすバスケットなど独自大会開催や県外遠征を行った県内の競技団体に対し支援を行った。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組④</p> <p>○パラリンピック等国際レベルの大会に出場する選手の競技力向上を支援する目的で、国際大会に出場する県内選手(パラパワーリフティング)の遠征費を支援した。</p>	障害者社会参加推進室

3. 目標指標の達成度【C H E C K (評価)】

目標指標	単位	基準値		R3年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

具体的な取組①

障害者社会参加推進室

- 総合型クラブや特別支援学校などと連携し、県内各地で体験会や交流会を開催してきた（令和3年度体験会：総合型クラブ6回、特別支援学校8回など）。
- 総合型クラブや障がい者施設など身近な地域にある場を活動拠点として、障がい者がスポーツに親しめる機会を拡大していく。

具体的な取組①

体育保健課/生涯スポーツ

- 県内3校の特別支援学校から申請があり、スポーツチャンバラ、陸上、スポンジボールテニスの指導者を派遣した。初めて行う種目にも楽しんで取り組む姿が見られた。
- 次年度も、引き続き生涯スポーツ協会を通じて呼びかけを行ない、障がいをもつ子どもたちにスポーツの機会を提供していきたい。

具体的な取組②

障害者社会参加推進室

- 障がい者スポーツ初級指導員を毎年約30人を養成するとともに、特別支援学校4校を指定して障がい者スポーツ用具の整備や貸出、教員向け研修を実施してきた。
- 障害者スポーツ指導者協議会との連携を図り、指導者の養成を引き続き推進するとともに、特別支援学校を地域の障がい者スポーツの拠点としての活用を図る。

具体的な取組②

体育保健課/生涯スポーツ

- グラウンド芝生化は4校の特別支援学校が取り組んでいる。
- 特別支援学を拠点とした学校施設の管理については、指定管理者と連携して、障がい者のスポーツ環境の整備に取り組む。

具体的な取組③

障害者社会参加推進室

- これまで、県障がい者スポーツ大会には毎年延べ約1,500人の選手が参加するとともに、全国障害者スポーツ大会には延べ毎年約30人の選手を派遣してきた（ただし令和2年度から両大会とも中止が続いている）。また県内で障がい者スポーツに取り組む17団体への助成を通じて、活動強化や競技力向上を支援した。
- 安全・安心な環境で県障がい者スポーツ大会が開催されるよう準備を続けるとともに、全国障害者スポーツ大会で優秀な成績を獲得できるよう、引き続き各団体の活動を支援する。

具体的な取組④

障害者社会参加推進室

- 県内障がい者スポーツ選手のさらなる競技力向上を支援するため、国際大会へ参加する2選手（パワーリフティング）に対して助成した。
- 東京2020パラリンピック競技大会のレガシーを継承するため、パラリンピック等国際大会へ出場、あるいは出場を目指す選手が、集中して取り組めるよう、参加経費の助成を行うとともに、パラアスリートに対する県内企業の理解促進を図る。

基本目標	I	生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成	担当所属	障害者社会参加推進室 /体育保健課 /県スポーツ協会
分野別施策	2	誰もが気軽に取り組めるスポーツの推進		
項目別テーマ	(2)	女性のスポーツ活動の推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	①	女性がスポーツを楽しむための環境の整備			
	②	スポーツ団体における女性役員の登用促進への支援			
	③	女性指導者の積極的な育成			
R()点検・評価 で整理した 課題・改善点	①			④	
	②			⑤	
	③				
関連事業 (令和3年度)		事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	③	初級障がい者スポーツ指導員養成講習会等(日本パラスポーツ協会委託)	611		

2. 令和3年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○子育てに関わる女性の運動機会を創出するため、親子で一緒に取り組める運動プログラムの事業構築に向け検討を進めた。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○スポーツ推進審議会委員は、第5次おおいた男女共同参画プランで定められている、県の全ての審議会において、女性委員の割合が4割以上となっていることから、女性候補者の積極的な登用が検討された。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○令和3年度の県スポーツ協会役員改選に当たって、加盟競技団体からの候補者について、女性の推薦を積極的に行うよう依頼をおこなった。また、学識経験者枠の候補者選定についても女性役員の登用をおこなった。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組③</p> <p>○県障害者スポーツ指導者協議会等の主催により、初級指導者養成講習会の開催に向けて準備を進めたが、新型コロナウイルスの影響により講習会が実施できなかった。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組③</p> <p>○ヘルスプロモーター養成講習会の広報番組を作成し、番組の中で女性指導者2名のインタビューを行い、女性指導者の活躍を広く情報発信した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○優秀指定選手を対象としたメディカルチェック事業において、女子高校生アスリートの血液検査をおこない、女性アスリート特有の課題解決に向けた指導をおこなった。</p>	県スポーツ協会

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R3年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

具体的な取組①	体育保健課/生涯スポーツ
○ 女性の子育て世代でも、日常生活の中の「すきま時間」や「ながら」で無理なく運動を取り入れられ、だれでも参加しやすい、魅力のあるプログラムの創出が求められる。	
→ 子育て世代でも取り組みやすいオンラインによる教室や、子ども一緒に楽しみながら参加できるスポーツイベントの開催、親子参加型プログラムの創出等を関係団体と連携し、女性がスポーツに参画しやすい環境を提供していきたい。	
具体的な取組②	体育保健課/生涯スポーツ
○ スポーツ推進審議会委員は、令和3年度8名が在籍し、女性委員の割合は40%であった。	
→ スポーツ協会等関係団体と連携し、女性役員の登用促進に務める。	
具体的な取組②	県スポーツ協会
○ 令和3年度の県スポーツ協会役員改選に当たって、加盟競技団体からの候補者について、女性の推薦を積極的に行うよう依頼をおこなった。また、学識経験者枠の候補者選定についても女性役員の登用をおこなった。	
→ 役員改選に当たって、女性の積極的登用に取り組んだ結果、県スポーツ協会役員に5名が新たに就任し、女性比率は0%→15%に向上した。(R2:0名・0%) 今後もガバナンスコードの基準値(女性役員40%以上)を達成できるよう対策を講じて行く必要がある。また、加盟競技団体における女性役員の登用促進に向けた効果的な支援の在り方を検討していく必要がある。	
具体的な取組③	障害者社会参加推進室
○ 女性を含む障がい者スポーツ初級指導員を毎年約30人を養成してきた。	
→ 障害者スポーツ指導者協議会との連携を図り、女性指導者の養成を引き続き推進する。	
具体的な取組③	体育保健課/生涯スポーツ
○ R3大分県生涯スポーツ協会指導者派遣事業において派遣した指導者総数14名の内3名が女性、R3に養成したヘルスプロモーター(県教委認定)24名の内9名が女性であった。関係団体と連携し、女性指導者の積極的な育成を促進していく必要がある。	
→ 更に関係団体と連携し、女性指導者の発掘を行い、指導者派遣事業等を通して、女性指導者の積極的な育成を図る。	
具体的な取組③	県スポーツ協会
○ 優秀指定選手を対象としたメディカルチェック事業において、女子高校生アスリートの血液検査をおこない、女性アスリート特有の課題解決に向けた指導を行った。	
→ 高校生年代の女性アスリート特有の課題解決に取り組むことができた。今後は、著名な女性指導者を招いた講習会の開催や女性アスリートを対象とした各種研修会の開催等を通じて、女性アスリートの支援や女性指導者の積極的な育成を継続していく必要がある。	

基本目標	I	生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成	担当所属	体育保健課 /県スポーツ協会
分野別施策	3	総合型地域スポーツクラブの育成・支援・活用		
項目別テーマ	(1)	総合型地域スポーツクラブの推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	①	中間支援組織(広域スポーツセンター等)による総合型クラブの質的充実支援	④	総合型クラブの自立と「登録・認証制度」への対応に向けた支援		
	②	市町村等と連携したクラブの創設と活動エリアの拡大	⑤	地域の健康づくり拠点化の推進		
	③	総合型クラブおおいネットワークとの連携	⑥	「新しい公共」を担う総合型クラブの育成		
R()点検・評価 で整理した 課題・改善点	①		④			
	②		⑤			
	③					
関連事業 (令和3年度)	事業名		事業名			
	予算額(千円)		予算額(千円)			
	①	クラブマネジャー養成講習会	216	④	スポーツ少年団指導者・スタッフ研修会	420
	②	スクエアステップ指導者育成	3,451	④	クラブ連絡会	94
	②	クラブアドバイザー配置事業	4,750	⑤	スポーツ医科学事業	882
	③	クラブマネジャー養成講習会(委託分)	100	⑥	クラブ連絡会	94

2. 令和3年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組① 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○ 専門的知識・能力を持ったクラブマネジャーを養成するための初級・上級の講習会、スクエアステップの公認指導者養成講習会、スポーツ医科学に基づく指導ができるヘルスプロモーター(県教委認定)養成講習会を実施し、人材育成を図った。</p>
<p>具体的な取組① 県スポーツ協会</p> <p>○ 広域スポーツセンターとの共催で、クラブマネジャー(公認アシスタントマネジャー)養成講習会を開催した。</p>
<p>具体的な取組② 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○ 総合型クラブが市町村と連携し、地域の特性や資源を生かした特徴的なスポーツプログラムを創出するシンボリックプログラム創出事業に取り組んだ。また、スクエアステップエクササイズ等の運動プログラムや、総合型クラブの活動状況を紹介するパンフレットを作成し、市町村等を通じて配布するなどして総合型クラブの普及・啓発に取り組んだ。</p>
<p>具体的な取組② 県スポーツ協会</p> <p>○ 本会内にクラブアドバイザーを配置し、市町村や各総合型クラブに派遣を行い、クラブの創設から自立・活動までを一体的にアドバイザーした。</p>
<p>具体的な取組③ 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○ 広域スポーツセンター事業の内、クラブマネジャー初級養成講習会について総合型クラブおおいネットワークに運営業務を委託した。また、総合型クラブおおいネットワークの役員会や総会に参加し、クラブの課題や「登録・認証制度」に向けた組織のあり方について意見交換及び協議した。</p>
<p>具体的な取組④ 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○ 総合型クラブの活性化や「登録・認証制度」に対する共通理解を図るため、市町村行政、各クラブへの訪問や、意見交換を行うクラブ連絡会や登録手続き説明会を開催した。また、クラブ連絡会の中でNPO運営アドバイザーの税理士を招聘した事業運営スキルアップセミナーを企画し、総合型クラブの継続性や透明性、公益性を高めることの必要性を啓発した。</p>
<p>具体的な取組④ 県スポーツ協会</p> <p>○ 「登録・認証制度」の運用主体となる大分県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を本会内に設置するための設置規程(令和4年4月1日施行)を策定した。(5月12日開催の第1回理事会にて承認済)</p>
<p>具体的な取組⑤ 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○ スクエアステップの公認指導者養成講習会、スポーツ医科学に基づく指導ができるヘルスプロモーター養成講習会を実施し、人材育成を図った。民間スポーツクラブと総合型クラブが連携し、健康運動指導士やヘルスプロモーター(県教委認定)等の専門家を派遣し運動処方を行う「健康体力サポート教室」の開催を企画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。</p>
<p>具体的な取組⑥ 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○ 総合型クラブの活性化や「登録・認証制度」に対する共通理解を図るため、市町村行政、各クラブへの訪問や、意見交換を行うクラブ連絡会や登録手続き説明会を開催した。また、登録手続き説明会の中で学校運動部活動の地域移行に関する説明を行い、総合型クラブが地域課題の解決に取り組む準備・協力を呼びかけた。</p>

3. 目標指標の達成度【CHECK（評価）】

目標指標	単位	基準値		R3年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
総合型クラブの会員数	万人	R1	1.61	1.88	1.48	78.7	×	R12	2.21	生涯スポーツ班

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION（改善）】

具体的な取組①

体育保健課/生涯スポーツ

- クラブマネジャー養成講習会（上級）は新型コロナウイルス感染症の影響により実施が危ぶまれたがオンライン受講に切換え、開催に至った。人材育成に係る講習会等はwithコロナを見据えたオンライン開催も視野に入れた弾力的な運営が必要。育成した指導者の活用の場を構築していくとともに、新たな運動プログラムを提供できる指導者の育成が必要。

→クラブマネジャー養成講習会は、集合開催を基本とするもののオンライン開催も視野に入れて組み立てる。関係団体と連携し育成した指導者の活用の場をクラブ内外に構築していくとともに、子どもや親世代をターゲットとした新たな運動プログラムを提供できる指導者の育成を図る。

具体的な取組①

県スポーツ協会

- 各クラブのクラブマネジャーの高齢化に伴い、若い世代の資格取得と、クラブ運営に関わる人材の確保。

→令和4年度から始まる登録・認証制度や各クラブの取組を本会HPやSNS等の活用により、広く県民に広報し、新たにクラブ運営に関わる人材の確保に努めていきたい。

具体的な取組②

体育保健課/生涯スポーツ

- シンボリックプログラム創出事業を3クラブが受託し、市の観光協会や地銀・ケーブルテレビの協力を得て事業構築や広報活動を行うなどし、サイクリングプログラム等を創出した。継続した事業支援をするとともに、他クラブへの活動の広がりをいかにしていくかが課題である。

→引き続きプログラム開発を支援するとともに、関係部局等と連携し、効率的・効果的な情報発信を行い総合型クラブの活動の普及・啓発、運営人材の発掘を図る。

具体的な取組②

県スポーツ協会

- コロナ禍の中、現地（市町村・クラブ訪問）での活動が難しいため、オンライン等も活用した対応が必要である。

→各市町村並びに登録クラブに対するクラブアドバイザーの指導・助言を引き続き行う。

具体的な取組③

体育保健課/生涯スポーツ

- ネットワーク会長や役員等の負担感が大きく、後継者の育成やネットワーク事業に参加するクラブの固定化等の課題がある。クラブマネジャー初級養成講習会については、県スポーツ協会内に設置されることとなる県クラブ協議会に運営業務を委託することも今後協議する必要がある。

→「登録・認証制度」の運用開始により県スポーツ協会内に設置されることとなる県クラブ協議会の位置づけ・役割や、今後の連携のあり方を検討し、効果的な連携策を確立する。

具体的な取組④

体育保健課/生涯スポーツ

- NPOの法人格を取得したクラブは15から本年度1クラブ増えて、16となった。各クラブとも財源や運営スタッフの獲得に苦慮しているのが現状である。「登録・認証制度」へ登録するクラブへの登録メリットを創出していくことが課題である。

→総合型クラブの継続性や透明性、公益性を高めることの必要性を啓発していく。「登録・認証制度」の運用開始により県スポーツ協会内に設置されることとなる県クラブ協議会で登録メリットの創出を協議していく。

具体的な取組④

県スポーツ協会

- 登録・認証制度の活用について、引き続き、広域スポーツセンターや市町村と協議が必要である。

→活動実態、運営実態、ガバナンス等についての基準を満たした登録クラブが、公益的な事業体としての役割を果たしているような仕組みづくりを行政とも連携して行っていかなければならない。

具体的な取組⑤

体育保健課/生涯スポーツ

- ここ数年の取組により中高年の運動を指導する貯筋運動サポーター92名、スクエアステップエクササイズの公認指導者93名、ヘルスプロモーター（県教委認定）等を47名養成することができた。これらの指導者を効果的に活用していくことが課題である。

→民間スポーツクラブや医療・福祉機関等と連携して育成した指導者の活用の場を構築していくとともに、子どもや親世代をターゲットとした新たな運動プログラムを提供できる指導者の育成を図る。健康づくり支援課と連携し、歩得を活用してクラブの健康教室やイベント等への参加を促す。

具体的な取組⑥

体育保健課/生涯スポーツ

- クラブ経営人材の高齢化等により、多くのクラブが後継者及び運営スタッフの確保に苦慮しているのが現状である。「新しい公共」を担う総合型クラブの育成には、更なるクラブへの支援とともに新規立ち上げ検討クラブへの創設支援が課題である。

→市町村行政訪問やクラブ訪問、市町村主管課長会議やクラブ連絡会等で学校運動部活動の地域移行に関する説明等を行い、クラブの支援を行うとともに関係機関と連携した地域課題の解決に取り組む総合型クラブの活用・支援を市町村に呼びかける。

具体的な取組⑥

県スポーツ協会

- 登録・認証制度の活用について、引き続き、広域スポーツセンターや市町村と協議が必要である。

→活動実態、運営実態、ガバナンス等についての基準を満たした登録クラブが、公益的な事業体としての役割を果たしているような仕組みづくりを行政とも連携して行っていかなければならない。

項目別テーマ進行管理表

【様式1】

基本目標	Ⅱ	県民のスポーツを支える環境づくりの推進	担当所属	芸術文化スポーツ振興課 /体育保健課
分野別施策	1	「みる」「ささえる」スポーツの充実		
項目別テーマ	(1)	「みる」「ささえる」スポーツの推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【P L A N (計画)】

具体的な取組	①	世界・国内トップレベルのスポーツ大会の誘致と観戦促進	④	プロスポーツの推進		
	②	子どもたちへの「みる」「ささえる」スポーツ機会の提供				
	③	大会を支える審判員等の専門スタッフの育成				
R()点検・評価 で整理した 課題・改善点	①		④			
	②		⑤			
	③					
関連事業 (令和3年度)	事業名		予算額(千円)	事業名	予算額(千円)	
	①	スポーツによる大分魅力創生事業	52,188	④	スポーツによる地域の元気づくり事業	24,057
	②	国際スポーツ大会誘致推進事業	215,008			

2. 令和3年度に実施した取組【D O (実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○令和3年10月にラグビーワールドカップ2019大会後初の国際試合として、日本代表対オーストラリア代表戦を開催した。また、令和4年4月に東都大学野球春季リーグの開幕戦が、令和5年には国際サイクルロードレースとしてツール・ド・九州2023が開催されることとなった。</p>	芸術文化スポーツ振興課
<p>具体的な取組②</p> <p>○県内で活躍するプロスポーツチーム等と連携を図り、サッカー、ラグビー、バレー、フットサルの学校訪問を実施した。また、東京2020オリンピックの事前キャンプでは、ポルトガル陸上代表選手が県内高校生アスリートに技術指導するなどの交流機会を創出した。</p>	芸術文化スポーツ振興課
<p>具体的な取組②</p> <p>○大分スポーツ公園で実施されたキッズラグビー体験会のチラシを総合型クラブに配布し、子どもたちが身近にラグビーに触れる機会の情報提供を行った。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○審判員等の資質向上を目的として、公益財団法人日本武道館協力の下、地域社会指導者派遣事業を計画した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組④</p> <p>○児童・生徒を対象としたトップチームによるラグビー教室の開催や練習試合への招待やプロ野球選手の自主トレ公開、東京2020オリンピックで注目されたスケートボードのPR動画を放映するなど機運の醸成も行った。</p>	芸術文化スポーツ振興課

3. 目標指標の達成度【C H E C K (評価)】

目標指標	単位	基準値		R3年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

具体的な取組①

芸術文化スポーツ振興課

○ 東都大学野球リーグやツール・ド・九州2023など、継続して国内外のトップレベルのスポーツイベントを誘致できている。

→ 県、市町村、競技団体、施設管理者等の関係団体で組織する大分県スポーツ合宿誘致推進協議会で情報共有しながら、継続して誘致活動を行う。

具体的な取組②

芸術文化スポーツ振興課

○ プロスポーツ選手の学校訪問や試合への招待を実施したほか、事前キャンプで来県したナショナルチームの選手との交流の場を設け、参加者から好評を得た。

→ トップチームの試合観戦機会の提供のほか、スポーツ合宿等で来県したトップチームや選手との交流を図り、スポーツに接する機会を提供していく。

具体的な取組③

体育保健課/生涯スポーツ

○ 子どもたちのスポーツ観戦を増やしていくためには、「みる」スポーツに加え、「する」スポーツの機会創出が求められる。主催団体と協力団体が連携した取組が望まれる。

→ 主催団体と総合型クラブ等の協力団体とマッチングを行い、試合前の子ども参加イベントを実施することで、子どもたちの「みる」「する」スポーツ機会の創出を図る。

具体的な取組④

体育保健課/生涯スポーツ

○ 空手道競技において審判講習会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。

→ 新型コロナウイルスの感染状況を注視し、対策を講じた上で各競技団体と連携し、計画・実施する。

具体的な取組⑤

芸術文化スポーツ振興課

○ プロスポーツチームのホームゲームでスポーツ関係のPR動画を放映するなど、県民がスポーツへの関心を高めるよう取組んだ。

→ 今後ともプロスポーツチームと連携し、活用することで県民のスポーツへの機運醸成を図る。

項目別テーマ進行管理表

【様式1】

基本目標	Ⅱ	県民のスポーツを支える環境づくりの推進	担当所属	芸術文化スポーツ振興課 /障害者社会参加推進室 /体育保健課
分野別施策	1	「みる」「ささえる」スポーツの充実		
項目別テーマ	(2)	スポーツボランティア活動の推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【P L A N (計画)】

具体的な取組	①	スポーツボランティアの啓発			
	②	スポーツボランティアの発掘と育成			
	③	スポーツボランティアの活用			
R()点検・評価 で整理した 課題・改善点	①		④		
	②		⑤		
	③				
関連事業 (令和3年度)	事業名		事業名		
	予算額(千円)		予算額(千円)		
	①	国際車いすマラソン大会開催事業	73,760	② 聖火リレー実施事業	100,688
	①	スポーツによる地域の元気づくり事業	24,057	③ 国際車いすマラソン大会開催事業	73,760
	②	国際車いすマラソン大会開催事業	73,760	③ 文化行政推進事業	6,800

2. 令和3年度に実施した取組【D O (実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○東京2020オリンピック聖火リレーや別府大分毎日マラソン大会、大分トリニータホームゲーム、横浜キヤノンイーグルスホームゲームなどを通じて啓発に努めることができた。</p>	<p>芸術文化スポーツ振興課</p>
<p>具体的な取組①</p> <p>○新型コロナウイルス感染予防対策のため、ボランティアの感染予防対策を講じた上で第40回記念大分国際車いすマラソンを開催。ボランティアの活動状況を大会記念誌等で紹介した。</p>	<p>障害者社会参加推進室</p>
<p>具体的な取組②</p> <p>○東京2020オリンピック聖火リレーでは約1,500人の方がボランティアとして活躍した。また、別府大分毎日マラソン大会等のスポーツイベントでの企業等を回り、新たにボランティアに参加する企業を発掘するとともに、これまでボランティアとして参加していただいた方にボランティアリーダーとして活躍してもらった。</p>	<p>芸術文化スポーツ振興課</p>
<p>具体的な取組②</p> <p>○大分国際車いすマラソン開催に当たり、企業ボランティアや県民ボランティアを対象にした事前説明会を開催し、業務ノウハウと大会の意義を説明した。また通訳ボランティアグループ「Can-do」とも連携し、大会の円滑な運営と人材の発掘・育成の両立を進めた。</p>	<p>障害者社会参加推進室</p>
<p>具体的な取組③</p> <p>○オリンピック聖火リレー、別府大分毎日マラソン大会など、当課関連のイベントでのボランティア活用だけでなく、希望する方には国際車いすマラソンのボランティア案内を行うなど、連携した取組も進めた。</p>	<p>芸術文化スポーツ振興課</p>
<p>具体的な取組③</p> <p>○大分国際車いすマラソン終了後、例年、大会に関する反省事項をとりまとめ、次大会の運営に反映させている。</p>	<p>障害者社会参加推進室</p>

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R3年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○東京2020オリンピック聖火リレーや別府大分毎日マラソン大会、大分トリニータホームゲーム、キャノンイーグルスホームゲームなどを通じて啓発に努めることができた。</p> <p>→スポーツボランティアの確保に向けて、継続して啓発活動に取り組む。</p>	<p>芸術文化スポーツ振興課</p>
<p>具体的な取組①</p> <p>○大分国際車いすマラソンでは毎年、企業、学校、地域等から約2,000名のボランティアが参加しており、活動を通じて障がいに対する理解を深める機会となっている。</p> <p>→新型コロナウイルス感染症の影響を注視し、対策を講じながら大会運営へのボランティア活用を継続する。</p>	<p>障害者社会参加推進室</p>
<p>具体的な取組①</p> <p>○広報活動の充実を図り、スポーツボランティアの啓発に取り組むことが必要。スポーツボランティアの功績をたたえる顕彰制度の整備に向けた検討も課題である。</p> <p>→スポーツイベントにおけるボランティアの活動内容や相互の交流を含めたボランティアリーダーの体験談等の広報を県スポーツ協会HPを活用して行っていく等、情報発信仕方の検討を図り、ボランティア未経験者への動機づけと意識啓発につなげる。また、スポーツボランティアの功績をたたえる顕彰制度の整備に向けた検討を図る。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組②</p> <p>○東京2020オリンピック聖火リレーや別府大分毎日マラソンなどででのボランティア活用により、ボランティアへの理解が進むとともに、イベントを通じてボランティア運営ノウハウを蓄積することができた。</p> <p>→別府大分毎日マラソンに協力を得ている企業や大学、専門学校等と連携を強化し、継続してボランティアの発掘・育成に取り組む。</p>	<p>芸術文化スポーツ振興課</p>
<p>具体的な取組②</p> <p>○大分国際車いすマラソンでは毎年、企業、学校、地域等から約2,000名のボランティアに対する説明や当日の活動を通じて、スポーツボランティアのみならず、障がいや共生社会実現に理解ある人材の発掘・育成を図っている。</p> <p>→本県のボランティア活動の代表的存在ともいえる大分国際車いすマラソンへの参加を通じて、理解と意欲ある人材の発掘・育成を継続する。</p>	<p>障害者社会参加推進室</p>
<p>具体的な取組②</p> <p>○現状では企業や団体の協力によるボランティアの組織づくりとなっているため、一般県民がよりボランティアに参加しやすい環境づくりを検討していくことが必要。</p> <p>→スポーツイベントにおける一般ボランティアの募集に関する情報提供を県スポーツ協会HPを活用して行っていく等、情報発信の方法の検討し、多くの県民がボランティアに携わる環境づくりを図る。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組③</p> <p>○東京2020オリンピック聖火リレーや別府大分毎日マラソン大会、大分トリニータホームゲーム、キャノンイーグルスホームゲームなどのスポーツイベントでボランティアを活用することができた。</p> <p>→イベントの主催者やプロスポーツチームと連携して、ボランティアを確保できるよう取り組む。</p>	<p>芸術文化スポーツ振興課</p>
<p>具体的な取組③</p> <p>○ボランティアからの意見により、少人数の事務局だけでは把握できない貴重な情報を得ることができ、大会運営の改善に大いに役立ってきた。</p> <p>→引き続き反省事項の集約を通じて、大会のさらなる改善を進める。</p>	<p>障害者社会参加推進室</p>
<p>具体的な取組③</p> <p>○ボランティアを必要とする団体がどこに要請をすればよいか等、ボランティアと団体のマッチング等の課題の解決に向けた組織構築に向けた取組が必要。</p> <p>→イベント主催者やクラブの保有するボランティア情報を一元的に管理するための組織構築に向けた取組を検討する。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>

項目別テーマ進行管理表

【様式1】

基本目標	Ⅱ	県民のスポーツを支える環境づくりの推進	担当所属	おおいた創生推進課 /体育保健課
分野別施策	2	スポーツ活動の場の充実		
項目別テーマ	(1)	地域の特性を活かした活動の場の充実		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	①	豊かな自然を活かしたスポーツ活動の場の整備			
	②	身近で取り組めるスポーツ活動の場の整備			
	③	天然・自然環境を活用したスポーツプログラムの開発とその情報提供			
R()点検・評価 で整理した 課題・改善点	①			④	
	②			⑤	
	③				
関連事業 (令和3年度)	事業名		予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	①	身近な地域の特性を生かしたシンボリックプログラムの創出	3,619	③ 身近な地域の特性を生かしたシンボリックプログラムの創出	3,619
	②	身近な地域の特性を生かしたシンボリックプログラムの創出	3,619		

2. 令和3年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○大分県地域活力づくり地域創生事業補助金を活用し、事業者が計画する健康増進や地域の活性化につながる取組を支援した。プロスポーツリーグの誘致及び市民向け競技イベントの開催を実施した。</p>	おおいた創生推進課
<p>具体的な取組①</p> <p>○シンボリックプログラム創出事業において、市町村・総合型クラブ・観光協会とサイクリングコース設定の際のトイレや雨天時の休憩場所について意見交換を行った。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○大分県地域活力づくりチャレンジ支援事業を活用し、地域団体が計画する健康増進や地域の活性化につながる取組を支援した。地域資源を活かしたスポーツプログラム創出に向けた人材育成や調査・研究を進めた。</p>	おおいた創生推進課
<p>具体的な取組②</p> <p>○シンボリックプログラム創出事業において、市町村・総合型クラブ・観光協会と連携して、サイクリングコースの検討を行った。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○総合型クラブが市町村と連携し、地域の特性や資源を生かした特徴的なスポーツプログラムを創出した。創出に際しては、経営、観光、広報等の専門家によるサポート委員会を設置し、プログラム創出に向けた助言を行った。</p>	体育保健課/生涯スポーツ

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R3年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

具体的な取組①

おおいた創生推進課

- 県の補助事業を活用し、豊かな自然を活かしたスポーツプログラムの創出や市民向けのイベント開催など、スポーツ活動の場の提供に向けた調査・研究やスポーツ機会の提供が実施された。

→ 県民の健康増進や地域活性化に向けて、引き続き市町村や各種団体と連携し、地域の特性を活かしたスポーツ活動の場の充実に支援していく。

具体的な取組①

体育保健課/生涯スポーツ

- サイクリングコースを設定する際にトイレや雨天時の休憩場所が必要だが、現時点では不足している。

→ 分かった課題については、関係市町村に伝えるとともに、今後の対応について協議していく。

具体的な取組②

体育保健課/生涯スポーツ

- 子どもから大人までが楽しめ、地域の魅力を発見できるサイクリングコースを開発した。

→ R3年度の取組をさらにブラッシュアップしていくとともに、これをモデルケースにして、他の地域でも展開していく。

具体的な取組③

体育保健課/生涯スポーツ

- 国東市のMAKK笑人クラブで「サイクリングプログラム」、大分市の滝尾百穴クラブで「サイクリングプログラム」、わいわい夢クラブで「カフェ併設型健康運動プログラム」を創出した。

→ R3年度に創出した3つのプログラムのブラッシュアップを図るとともに、他の地域でも地域の特性を活かした新たなプログラムを創出する。併せて創出したプログラムは、様々な媒体を活用して情報発信していく。

基本目標Ⅱ	県民のスポーツを支える環境づくりの推進	担当所属	教育財務課 /体育保健課
分野別施策2	スポーツ活動の場の充実		
項目別テーマ(2)	学校体育施設の充実と有効活用		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	①	学校体育施設・設備の整備・充実			
	②	学校体育施設開放事業の促進			
R()点検・評価 で整理した 課題・改善点	①			④	
	②			⑤	
	③				
関連事業 (令和3年度)		事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	①	県立学校施設整備事業	4,315,890 の内数	④ 県立学校体育施設開放事業	1,009
	②			⑤	

2. 令和3年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組① 教育財務課</p> <p>○ 体育館改修(大分豊府)、部室改修(国東、宇佐産業)、防球ネット改修(津久見、大分豊府)等を実施した。</p>
<p>具体的な取組② 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○ 県立学校17校を指定校とし、グラウンドや体育館等の23施設を開放した。総合型クラブや市町村体育・スポーツ協会等に使用の調整や、照明使用料の徴収事務を委託することで利用者の利便性の向上を図った。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大に併せ、開放を一時中止するなどの対策をとった。</p>

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R3年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

<p>具体的な取組① 教育財務課</p> <p>○ 県立学校体育施設の充実を図るため、老朽化対策の計画的実施などに取り組む必要がある。</p> <p>→ 県立学校体育施設について、大規模改修などを活用して施設の整備・充実を図っていく。</p>
<p>具体的な取組② 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○ 小・中学校の学校体育施設の開放率はほぼ100%だが、利用は飽和状態に達しており新規の利用が難しい状況にある。一方で、県立学校の開放率は31%と低い状況に止まっており、活動の場の確保に向けた開放校の拡大が必要。</p> <p>→ 特別支援学校で部活動を行っていない学校については、市町村と連携し委託団体の調整等を進め開放拡大を図る。また、高等学校に関しては、部活動の支障の少ない休日や長期休業中の夜間利用に関して学校と調整し、地域のスポーツ活動の場としての活用を進める。</p>

基本目標	Ⅱ	県民のスポーツを支える環境づくりの推進	担当所属	健康づくり支援課 /高齢者福祉課 /障害者社会参加推進室 /体育保健課 /県スポーツ協会
分野別施策	2	スポーツ活動の場の充実		
項目別テーマ	(3)	スポーツ施設の整備・充実と支援体制の整備		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	①	県立スポーツ施設の維持・整備			
	②	スポーツ環境を充実させるための施設運営			
	③	支援体制の整備に向けた検討			
R()点検・評価 で整理した 課題・改善点	①		④		
	②		⑤		
	③				
関連事業 (令和3年度)	事業名		予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	①	県立武道スポーツセンター管理運営費 県立フェンシング場管理運営費	165,319 1,000	③ 医科学研修講座	390
	②	県立武道スポーツセンター管理運営費 県立フェンシング場管理運営費	165,319 1,000	④ 障がい者差別解消・権利擁護推進事業	16,743
	③	スポーツ振興基金事業	19,798	⑤ 生涯健康県おおいた21推進事業策	2,610
	③	優秀選手等メディカルチェック	2,800		

2. 令和3年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○施設・設備の保守管理、保安警備の他、競技フロアの補修など必要な修繕を行った。</p>	体育保健課/管理予算
<p>具体的な取組①</p> <p>○施設内に常備している備品について、競技団体のニーズを聞く機会を設けた。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○武道教室、レディースバドミントン教室などの自主事業を実施した他、スポーツイベント「みんなのスポーツデー」を開催するなど、県民がスポーツに親しむ取組を行った。</p>	体育保健課/管理予算
<p>具体的な取組②</p> <p>○指定管理者や競技団体と連携し、県民すこやかスポーツ祭でユニバーサルスポーツを体験する機会を設けた。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○「生涯健康県おおいた21推進協議会」で県の健康づくり計画の方策等を検討協議し、歩数増加のための支援体制の協議を行う。</p>	健康づくり支援課
<p>具体的な取組③</p> <p>○スポーツに携わる県・市町村など行政職員に対して、オンライン研修用の動画を配信し、障がいへの理解や差別解消、合理的配慮の推進を図った。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組③</p> <p>○教育委員会のホームページにおいて県生涯スポーツ協会の各団体が実施するイベントや活動状況を広報した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○若手指導者を対象とした、「おおいたコーチングセミナー」を開催した。競技力向上を目的として、次世代を担う若手指導者に対して、実績のある優秀指導者からの講演と、参加者によるディスカッションを実施した。</p>	体育保健課/競技力向上
<p>具体的な取組③</p> <p>○医科学関係機関に協力を得て、優秀指定選手を対象としたサポート事業や市町村や競技団体が開催する「医科学講座」への講師の紹介や開催経費の補助などを行った。</p>	県スポーツ協会

3. 目標指標の達成度【CHECK（評価）】

目標指標	単位	基準値		R3年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
県立武道スポーツセンター利用者満足度調査における「大変良い」「良い」の割合	%	R1	82.2	83.6	83.7	100.1	◎	R12	90.0	管理予算班

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION（改善）】

具体的な取組①	体育保健課/管理予算
○ 利用者の意見に耳を傾け、改善すべきことがあれば速やかに対応する必要がある。	
→ 利用者アンケートを実施し、利用者の意見や要望を基にサービス向上を図る。	
具体的な取組①	体育保健課/生涯スポーツ
○ 競技団体や利用者の意見に耳を傾け、必要に応じて備品等の整備を検討している。	
→ 指定管理者と連携し、競技団体や利用者の意見に耳を傾け、必要に応じて備品の購入を検討していく。	
具体的な取組②	体育保健課/管理予算
○ 新型コロナウイルス感染症が終息しない状況下で、イベントの開催による利用者感染のリスクがある。	
→ イベントの主催者と感染防止策の役割分担などについて事前に確認したうえで、感染対策を徹底する。	
具体的な取組②	体育保健課/生涯スポーツ
○ 指定管理者や競技団体と連携し、県民すこやかスポーツ祭でユニバーサルスポーツの大会を実施している。	
→ 年齢や障がいの有無に関わらず誰もがスポーツを楽しめる機会を増やしていけるよう、指定管理者や競技団体に働きかけを行う。	
具体的な取組③	健康づくり支援課
○ 「生涯健康県おおいた21推進協議会」を年1回開催。	
→ 県民の健康寿命の延伸を目的として、さまざまな支援体制等を協議。	
具体的な取組③	障害者社会参加推進室
○ 行政職員（県・市町村）向け動画配信の概要は次のとおり。①開始時期：令和3年10月、②動画視聴者のアンケート：650件（令和4年1月14日時点）、③アンケート回答者のうち「合理的配慮」を「知っていた」と回答した割合：49%	
→ 障害者差別解消法が令和3年に改正公布され、合理的配慮が行政機関だけでなく民間事業者にも義務づけられる（公布後3年以内に施行）ことから、こうした動画の配信などを通じて、スポーツ施設運営者の障がい者差別解消に向けた取組を進めていく。	
具体的な取組③	体育保健課/生涯スポーツ
○ 教育委員会のホームページを見た一般の方から、競技種目に関する問合せがあった。	
→ 県生涯スポーツ協会の情報提供はできているが、総合型クラブなど生涯スポーツに関わる情報の一元化はできていない。情報の一元化については、今後も検討していく。	
具体的な取組③	体育保健課/競技力向上
○ 競技力向上を目的とした中堅指導者の研修事業が実施できていない。	
→ 次年度は新たに競技力向上を目的として、中堅指導者（想定40代）対象の研修事業に取り組む。新しい時代にふさわしい指導者育成をテーマとして、これまでの指導経験の振り返り（内省）や課題解決（アウトプット）を中心とした研修を検討する。	
具体的な取組③	県スポーツ協会
○ 医科学関係機関に協力を得て、優秀指定選手を対象としたサポート事業や市町村や競技団体が開催する「医科学講座」への講師の紹介や開催経費の補助などを行った。優秀指定選手を対象としたサポート事業では、結果を指導者・選手にフィードバックすることができ、効果的な指導、トレーニングに繋げることができた。	
→ 新型コロナ感染症の影響により、事業が計画通り進んでいない事業がある。また、医科学講座も中止・延期となっており、コロナ禍における事業実施方法の検討が必要である。	

基本目標	Ⅱ	県民のスポーツを支える環境づくりの推進	担当所属	芸術文化スポーツ振興課 /健康づくり支援課 /高齢者福祉課 /障害者社会参加推進室 /体育保健課 /県スポーツ協会
分野別施策	3	スポーツを支える組織や体制、仕組の充実		
項目別テーマ	(1)	スポーツ情報の収集と提供		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	①	スポーツ情報システムの構築			
	②	報道機関と連携した情報提供の充実			
R()点検・評価 で整理した 課題・改善点	①		④		
	②		⑤		
	③				
関連事業 (令和3年度)		事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	①	国際車いすマラソン大会開催事業	73,760	① スポーツによる大分魅力創生事業	52,188
	①	おおいた歩得健康ポイント推進事業	16,767	⑤ 国際車いすマラソン大会開催事業	73,760

2. 令和3年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組① 芸術文化スポーツ振興課</p> <p>○大分県のスポーツ施設や宿泊施設など、スポーツ合宿に関する情報を一元的にまとめた情報サイト「スポ泊!おおいた」を運用し、スポーツイベントやスポーツ合宿にも適した大分県の多様な魅力を発信した。</p>
<p>具体的な取組① 健康づくり支援課</p> <p>○市町村の運動施設利用、各種団体を含めた運動イベントについては、健康アプリ「おおいた歩得」を活用し、スマートフォンで情報発信を行っている。</p>
<p>具体的な取組① 障害者社会参加推進室</p> <p>○ホームページだけでなくInstagramやFacebookといったSNSを通じて、大分国際車いすマラソンをはじめ、県内障がい者スポーツに関する情報を提供した。今年度は第40回記念大分国際車いすマラソンの企画事業の一環でTVCMを特別に放映するなど、県民のさらなる関心拡大を図った。</p>
<p>具体的な取組① 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○県民実態調査を行い、性別・年代等の属性別のニーズや情報収集の方法等に関する情報の収集を行った。また、総合型地域スポーツクラブの認知度向上に向け、報道機関と効果的な情報発信について協議するなど個別の施策、事業ごとに連携した取組を進めた。</p>
<p>具体的な取組① 県スポーツ協会</p> <p>○ホームページ、インスタグラムを活用した情報発信、イベントを実施している。</p>
<p>具体的な取組② 障害者社会参加推進室</p> <p>○大分国際車いすマラソンの開催に当たり、大分合同新聞やOBS大分放送も主催・共催として連携し、第40回記念大会や選手に関する様々な情報を県内外に発信した。</p>
<p>具体的な取組② 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○県教育委員会広報枠で、スポーツに関する番組を企画し、情報の発信を行った。また、新聞等に働きかけ、総合型クラブの活動に関する情報発信の取組を開始した。競技力向上に関する情報は、フェイスブック等を活用し、タイムリーな情報発信を図った。</p>
<p>具体的な取組② 県スポーツ協会</p> <p>○本会実施事業、国民体育大会の開催や結果などを報道機関に情報提供を行い本会の情報発信を行っている。</p>

3. 目標指標の達成度【CHECK（評価）】

目標指標	単位	基準値		R3年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION（改善）】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ 多くの人にスポ泊！おおいたが認識されるよう、周知するとともに、機能を向上させる必要がある。</p> <p>→ SNSを活用した広告（WEB広告）に取り組み、幅広く周知していく。</p>	<p>芸術文化スポーツ振興課</p>
<p>具体的な取組①</p> <p>○ 市町村での情報発信に格差がある。</p> <p>→ 市町村の優良な取組を他の市町村へ波及させるため「健康寿命延伸アクション部会」を設置し、有効な活用法について検討する。</p>	<p>健康づくり支援課</p>
<p>具体的な取組①</p> <p>○ ホームページ「大分国際車いすマラソン」「大分県障がい者スポーツ協会」、Instagram・Facebook「大分県障がい者スポーツ」による情報発信を行っている。</p> <p>→ 引き続き、各種媒体からの発信を通じて、県民が障がい者スポーツ関連の情報を容易に取得できる環境整備を行う。</p>	<p>障害者社会参加推進室</p>
<p>具体的な取組①</p> <p>○ 各施策事業ではスポーツ関係団体や報道機関との連携は進んでおり、効率的な情報発信につながってきた。しかしながら、県民の多様なニーズに対応できるシステム構築に向けた取組は進んでいない。</p> <p>→ 県民のスポーツに求める価値はますます多様化している。これらの要請に応えるため関係する機関や団体が連携して、情報収集や発信の方法について検討する体制を構築することで効率的・効果的な情報提供を推進する。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組①</p> <p>○ ホームページを随時更新をして情報発信することができた。また、インスタグラムを開設し、情報発信・イベントを実施することができた。</p> <p>→ 昨年ホームページのリニューアルを行ったが、さらに「見やすい」・「わかりやすい」ホームページ作成に向け、専門業者との協議を進める必要がある。</p>	<p>県スポーツ協会</p>
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 第40回記念大分国際車いすマラソン（令和3年11月20日（土）開会式～21日（日）レース）を通じて、大分合同新聞などによる新聞報道、TV・インターネット生中継（21日（日）9:55～12:00）など実施した。</p> <p>→ 引き続き、報道機関と緊密な連携の下で、大分国際車いすマラソンの情報発信を進める。</p>	<p>障害者社会参加推進室</p>
<p>具体的な取組②</p> <p>○ これまでの取組により報道機関と連携した取組は少しずつではあるが充実しつつある。SNSの活用に関してはこれまでと大きな変化がなく、更なる取組が必要。</p> <p>→ 報道機関との定期的な情報交換の機会を設定し、連携・協働体制を構築するとともに、スポーツ関係団体との連携を深め、利用者にとって魅力的な情報を収集し、提供することで報道機関と連携した情報提供の更なる充実を図る。また、SNS活用の面では、関係団体と連携し取材体制や発信方法等の確立に向けた検討を進める。</p>	<p>体育保健課/生涯スポーツ</p>
<p>具体的な取組②</p> <p>○ メール等を活用して報道機関への情報の提供を実施することができた。また、令和2年11月よりInstagramを開設し、情報発信・スポーツ活動に興味を持ってもらうためのイベントを実施することができた。</p> <p>→ スポーツ関係団体と報道機関の定期的な情報交換会を実施することができなかった。今度、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めて、情報交換会が実施できるかも含めて検討したい。</p>	<p>県スポーツ協会</p>

基本目標	Ⅱ	県民のスポーツを支える環境づくりの推進	担当所属	/障害者社会参加推進室 /体育保健課 /県スポーツ協会
分野別施策	3	スポーツを支える組織や体制、仕組の充実		
項目別テーマ	(2)	行政組織の連携とスポーツ関係団体の充実		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	①	スポーツ推進体制の整備	④	関係機関・団体と連携した安心・安全なスポーツ体制の確保	
	②	スポーツ関係団体におけるガバナンス向上の取組の推進	⑤	研究機関・医療機関・大学との連携	
	③	スポーツ関係団体の整備・充実			
R()点検・評価で整理した課題・改善点	①		④		
	②		⑤		
	③				
関連事業 (令和3年度)		事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	①	スポーツ推進審議会	321	④ 国際車いすマラソン大会開催事業	73,760
	②	新チーム大分強化事業	128,655	④ 新チーム大分強化事業	128,655
	③	スポーツ推進委員協議会運営費負担金	600	⑤ スクエアステップ指導者養成	3,451
	③	県民すこやかスポーツ祭	1,724	⑤ スポーツ医科学事業	881

2. 令和3年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○今後の本県におけるスポーツ推進の基本的な方向性を示した、第2期スポーツ推進計画が策定された。また、計画の進行管理に関しては、体育保健課が事務局となり、他部局担当課と連携し、成果・課題を取りまとめ審議会に報告する。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○県事業の受託をはじめ県内の障がい者スポーツを統括する大分県障がい者スポーツ協会の透明性を確保するため、協会役員や予算・決算等の各種データをホームページ上に公開した。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組②</p> <p>○県スポーツ協会と連携し、大分県総合型地域スポーツクラブ連絡会、大分県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会登録説明会を開催し、公益的な取組を促進するために必要となるガバナンスについて説明した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○競技団体を対象として、競技力向上対策事業における事業事務説明会を実施した。補助金を適切に執行するよう、運用規定の確認や報告書、根拠資料等の保管に関することを説明し、公正かつ適正な経理処理を行うために必要な支援に取り組んだ。</p>	体育保健課/競技力向上
<p>具体的な取組②</p> <p>○「加盟団体におけるガバナンスコード」作成に向けた研修会を実施。また、スポーツ活動の中における暴力根絶等に向けた研修会を実施。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組③</p> <p>○県内の障がい者スポーツを統括する大分県障がい者スポーツ協会の運営のさらなる充実強化に向け、県職員が協会事務局に参画した。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組③</p> <p>○県スポーツ推進委員協議会の運営費を負担するとともに、各種研修会の企画・運営を支援した。初任者研修では、スポーツ推進委員としての基礎的内容及び感染症予防対策等の講義を実施した。また、県研究大会はコロナ禍で中止としたものの教材映像を作成し、教材のインターネット配信及び市町村研修の補助等を行い、研修機会の確保に努めた。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○コロナ禍において集合型のスポーツイベントの実施が困難な状況が続く、県民すこやかスポーツ祭が中止となるなどこれまでどおりの取組は行えなかった。(生涯スポーツ協会の理事会・評議委員会は書面決議により実施した。)指導者派遣事業については、21件の申請があり、昨年より20件増加した。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組③</p> <p>○年度当初、加盟団体事務局長会議、スポーツ少年団関係団体、医科学関係団体との協議を実施。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組④</p> <p>○第40回記念大分国際車いすマラソンの開催に当たり、新型コロナウイルス感染防止及び海外選手受入等のガイドラインを策定しただけでなく、選手・ボランティアなど全ての関係者に対する新型コロナウイルス検査の実施など、様々な感染防止対策を実施した。</p>	障害者社会参加推進室

具体的な取組④

体育保健課/生涯スポーツ

- 広域スポーツセンター機能では、巡回訪問を行い、スポーツ関係団体ガバナンスコードに基づく一般スポーツ団体の透明性確保に向けた取組についての説明や、運営上の課題把握等を通じて総合型クラブの組織体制を支援した。また、指導者講習会の実施により、指導者及び運営人材の育成を支援した。

具体的な取組④

体育保健課/競技力向上

- コロナ禍における競技力向上に向けた取組として、オンラインを活用した優秀指導者からのコーチングを実施した。事前に競技中の動画を優秀指導者に送り、その動画をもとに選手に対して効果的なコーチングに取り組んだ。

具体的な取組④

県スポーツ協会

- コロナ禍での安心・安全な大会運営について競技団体に情報提供を行う。熱中症などの事故防止のための研修会を実施。

具体的な取組⑤

体育保健課/生涯スポーツ

- 鹿屋体育大学やNPO法人スクエアステップ協会と連携し指導者養成事業を実施した。また、スポーツ医科学事業ではNPO法人ヘルスフィットネスフォーラムと連携した体力測定の実施やヘルスプロモーター（県教委認定）の養成に取り組んだ。

3. 目標指標の達成度【CHECK（評価）】

目標指標	単位	基準値		R3年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION（改善）】**具体的な取組①**

体育保健課/生涯スポーツ

- 各部署が所管するスポーツや健康づくりに関する審議会・協議会への関連する各部署の担当職員の参加、スポーツ推進計画の策定、進行管理での調整等については定期的に実施されている。

→ 都道府県におけるスポーツに関する所管は教育委員会から離れ、知事部局で障がい者スポーツや健康づくり等も含めて一元化を行う事例が増えている。先行事例の調査研究を行い、スポーツ行政の推進体制のあり方を検討したい。

具体的な取組②

障害者社会参加推進室

- 大分県障がい者スポーツ協会のHP上で、令和2年度収支予算・決算書、関係役員・事務局職員といったデータを公表している。

→ 県内の障がい者スポーツ環境の透明性を確保するため、各種データの公表を継続、充実していく。

具体的な取組②

体育保健課/生涯スポーツ

- NPOの法人格を取得した総合型クラブは15から本年度1クラブ増えて16となったが、各クラブとも財源や運営スタッフの獲得に苦慮しているのが現状である。

→ 総合型クラブの質的充実に向け、人材育成等の支援を継続することで各クラブ組織の充実と整備を図る。その上で、クラブ理念や地域の実情に応じて法人格の取得などに関する指導・助言が行える体制を確保する。

具体的な取組②

県スポーツ協会

- 本会役員・事務局員・加盟団体・スポーツ少年団の関係者を対象として、「スポーツ団体におけるガバナンス」と題して弁護士を講師を務めてもらい、研修会を実施した。また、スポーツ少年団指導者を対象とした「体罰」・「バウハラ」について指導者研修を行った。

→ 「ガバナンスコード」作成については、より具体的な研修が必要である。加盟競技団体等が作成できるように研修会を実施するとともに、指導・助言を行って行く必要がある。

具体的な取組③

障害者社会参加推進室

- 大分県障がい者スポーツ協会の事務局として、県職員4名、県内社会福祉法人出向職員1名、専任職員4名が在籍している。

→ 引き続き県職員が協会事務局に参画し運営のさらなる充実強化を進めるとともに、運営費財源の確保に向けて民間助成や協賛企業の獲得に向けた取組を継続する。

具体的な取組③

体育保健課/生涯スポーツ

- 企画・研修・広報等の専門委員会を組織し、スポーツ推進委員による組織運営に努めているが、研修会の企画・立案・運営等に関しては県行政の支援による部分が多い。

→ 地域の実情の応じたスポーツの推進を行うための市町村や地区事務局機能の強化、県協議会の企画・運営に対するスポーツ推進委員の参画を促進するための専門委員会のあり方等に関する検討を進める。

具体的な取組③

体育保健課/生涯スポーツ

- 加盟団体の活動概要を掲載したこれまでのリーフレットから、デザイン・内容を一新し、指導者派遣事業の積極的な活用に向けた広報を行った。加盟団体はここ数年増えていないことから、組織の充実及び認知度向上に向けた取組が必要。

→ 多様化する県民のスポーツニーズに対応できるよう、指導者派遣事業を更に促進していく必要がある。組織の充実に関しては、加盟団体と総合型クラブおいたネットワークとの連携について検討していく。

具体的な取組③

県スポーツ協会

- 年度当初、加盟団体事務局長会議、スポーツ少年団関係者会議を実施して、本会の事業説明や事務手続方法などを説明した。本会の医科学を活用した「優秀指定選手を対象としたサポート事業」を実施するにあたり、医科学関係団体の協力を得て実施した。

→ 医科学関係団体においては、コロナ禍において、できる限りの協力をいただき感謝をしている。医科学関係団体に負担がかからないように事業実施日や実施方法の検討が必要である。

具体的な取組④

障害者社会参加推進室

- 第40回記念大分国際車いすマラソン参加者/選手131名（国内127名、海外4名）、協力者・ボランティア約2,000名、役員・来賓110名 新型コロナウイルス感染者0名（大会期間中）

→ 大分国際車いすマラソンをはじめ県内障がい者スポーツの各種大会やイベントで新型コロナ感染防止対策を構築するなど、安全・安心な障がい者スポーツの推進に向けた体制づくりを継続する。

具体的な取組④

体育保健課/生涯スポーツ

- NPOの法人格を取得した総合型クラブは15から本年度1クラブ増えて16となったが、各クラブとも財源や運営スタッフの獲得に苦慮しているのが現状である。

→ 「登録・認証制度」の導入に向け、県スポーツ協会と連携し中間支援組織を構築する。また、広域スポーツセンターと県スポーツ協会の役割分担を明確にし、効率的かつ効果的な事業推進に努め、総合型クラブの更なる質の充実を図る。

具体的な取組④

県スポーツ協会

- 県からの通知に基づき、コロナ禍におけるスポーツ活動や熱中症への対応などについて、研修を実施するとともに、適宜、加盟団体、スポーツ少年団など関係各所に連絡をするとともに、本会ホームページやInstagramを活用して注意喚起を行った。

→ 新型コロナウイルス感染症感染予防については、最新情報をできる限り早く関係者へ情報提供を行っていく必要がある。

具体的な取組⑤

体育保健課/生涯スポーツ

- 研究機関等との連携により充実したプログラムの提供が可能となっている。受講後に行われる検定試験合格者には、スクエアステップ指導者資格は13名、ヘルスプロモーター（県教委認定）24名が認定された。

→ 養成したヘルスプロモーターを、総合型地域スポーツクラブに講師として派遣は、令和3年度は延べ8名で、今後派遣数を増やす必要がある。

基本目標	Ⅱ	県民のスポーツを支える環境づくりの推進	担当所属	健康づくり支援課 /障害者社会参加推進室 /体育保健課 /県スポーツ協会
分野別施策	3	スポーツを支える組織や体制、仕組の充実		
項目別テーマ	(3)	企業におけるスポーツ活動の推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	①	スポーツの推進に向けた企業との連携・協力			
	②	地域貢献活動の推進			
R()点検・評価 で整理した 課題・改善点	①			④	
	②			⑤	
	③				
関連事業 (令和3年度)		事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	①	地域における障がい者スポーツ振興事業(日本パラスポーツ協会委託)	2,075	① 新チーム大分強化事業	128,655
	①	健康経営事業所パワーアップ事業	5,410	④ 国際車いすマラソン大会開催事業	73,760

2. 令和3年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ 地域や学校での障がい者スポーツ体験会を行うに当たり、県内企業等に勤める障がい者スポーツ選手らを指導者として派遣した。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組①</p> <p>○ シンボリックプログラム創出事業において、経営・観光・広報等の専門家によるサポート委員会を設置し、委員として企業関係者に参加していただいた。クラブの企画案について、プログラム創出に向けた助言をいただき、地域の資源を生かした特徴的なスポーツプログラムを創出し、企業と地域が連携・協働したスポーツイベントの開催を行った。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組①</p> <p>○ 競技力向上に向けたトップアスリートの就職支援に、本県の経済団体と連携して取り組んだ。コロナ渦における経済不況もある中、競技継続を前提として2名のアスリートの就職内定が決まった。</p>	体育保健課/競技力向上
<p>具体的な取組①</p> <p>○ 企業と連携を行いスポーツイベントを実施。年間を通して、企業訪問を行い、大分県にスポーツ振興の取組を理解してもらい、賛助会員として協力をお願いしている。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組①</p> <p>○ 働く人の健康増進を会社の成長につなげようとする健康経営事業所を普及させることにより、事業所ぐるみで健康増進に取り組む会社の増加を図る。</p>	健康づくり支援課
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 第40回記念大分国際車いすマラソンの運営に当たり、大会史上最多の40社の協賛獲得やボランティアなど障がい者スポーツへの理解や社会貢献に意欲ある企業による支援が行われた。</p>	障害者社会参加推進室
<p>具体的な取組②</p> <p>○ シンボリックプログラムサポート委員の企業関係者が、総合型地域スポーツクラブのイベントに出向き、コーディネーター役としてイベントに参加していただいた。</p>	体育保健課/生涯スポーツ
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 競技力向上に向けたトップアスリートの就職支援に、本県の経済団体と連携して取り組んだ。コロナ渦における経済不況もある中、競技継続を前提として2名のアスリートの就職内定が決まった。</p>	体育保健課/競技力向上

3. 目標指標の達成度【CHECK (評価)】

目標指標	単位	基準値		R3年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION (改善)】

具体的な取組①

障害者社会参加推進室

- 令和3年11月末時点で、地域や学校での障がい者スポーツ体験会が43回開催され、うち県内企業等に勤める42名の障がい者アスリートらが講師として県内各地に派遣された。

→引き続き、県内企業に勤める障がい者アスリートらの講師派遣を通じて、身近な地域で障がい者スポーツが取り組める環境づくりを進める。

具体的な取組①

体育保健課/生涯スポーツ

- 令和3年度は、シンボリックプログラム創出事業において、4クラブが応募した。企業関係者のサポートにより本事業の発展の可能性を感じさせられた。創出したイベント等に協力企業の広報をしていくなどの取組も検討事項である。

→企業ノウハウを活かし、魅力的なシンボリックプログラムを企画・運営するため、事業創出クラブを継続支援していくとともに新規の応募クラブを増やし、引き続き、総合型クラブと企業との連携・協働を推進する。

具体的な取組①

体育保健課/競技力向上

- コロナ感染症拡大防止の観点から、トップアスリートの就職支援にかかるアスナビ説明会を中止した。代替としてホームページ上にアスリートの紹介動画を掲載し広報した。

→トップアスリートの就職支援については、経済団体と連携した広報が必要である。これまでも報道機関やホームページを活用して取り組んだが、引き続き、企業関係者にアスリートの雇用について広く周知する。

具体的な取組①

県スポーツ協会

- 企業と包括連携協定を結び、オリンピックを招聘した「かけっこ教室」を共催で実施した。年間を通して、企業訪問を行い、本会の事業内容等を行い、賛助会員への協力をお願いし、昨年より賛助会員が増加につながっている。

→本会の認知度が低いと思われる。さらなる広報活動等に力を入れて、県内企業と一緒にスポーツ振興に取り組むことが必要である。

具体的な取組①

健康づくり支援課

- 令和4年1月時点での健康経営事業所は2,080か所あるが、事業所ぐるみで健康増進の取組、健診状況の100%把握、受動喫煙防止対策等5つの基準をクリアしている認定事業所は648か所であるため、事業所と連携して認定事業所の増加が必要。

→今後とも健康経営事業所の普及と認定健康経営事業所の拡大にむけ、啓発活動を推進する。

具体的な取組②

障害者社会参加推進室

- 第40回記念大分国際車いすマラソンで協賛40社、寄付9社、ボランティア約2,000名の企業支援を受けた。「アスナビ」を通じてこれまで5名の障がい者アスリートが県内企業に就職しているが、令和2年度からは実績なし。

→引き続き、障がい者スポーツへの理解や社会貢献に意欲ある企業と連携し、大分国際車いすマラソンの大会を運営する。加えて、東京2020パラリンピック競技大会のレガシーを継承するため、障がい者アスリートの県内企業の雇用推進も図る。

具体的な取組②

体育保健課/生涯スポーツ

- 総合型クラブと企業との連携により、参加者のニーズを反映したシンボリックプログラムの充実が図られつつある。

→引き続き、地域の特性に応じたシンボリックなプログラムを創出することでクラブの魅力アップを図り、総合型クラブの加入促進につなげるとともに、企業と総合型クラブと連携し、誰でも気軽に参加しやすいプログラムを提供することで地域におけるスポーツ活動を推進する。

具体的な取組②

体育保健課/競技力向上

- コロナ感染症拡大防止の観点から、トップアスリートの就職支援にかかるアスナビ説明会を中止した。代替としてホームページ上にアスリートの紹介動画を掲載し広報した。

→トップアスリートの就職支援については、経済団体と連携した広報が必要である。これまでも報道機関やホームページを活用して取り組んだが、引き続き、企業関係者にアスリートの雇用について広く周知する。

基本目標	Ⅱ	県民のスポーツを支える環境づくりの推進	担当所属	障害者社会参加推進室 /体育保健課 /県スポーツ協会
分野別施策	3	スポーツを支える組織や体制、仕組の充実		
項目別テーマ	(4)	スポーツに関する顕彰制度の充実		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	①	顕彰制度の充実			
R()点検・評価 で整理した 課題・改善点	①			④	
	②			⑤	
	③				
関連事業 (令和3年度)		事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	①	公益財団法人分県スポーツ協会表彰	741	④	
	②			⑤	
	③			⑥	

2. 令和3年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組① 障害者社会参加推進室</p> <p>○障がい者スポーツの功労者及び前年度に国際大会や全国規模の大会で優秀な成績を収めた選手を表彰した。</p>
<p>具体的な取組① 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○地域又は職域におけるスポーツの健全な普及及び発展に貢献し、顕著な成果をあげた、スポーツ推進委員及び生涯スポーツ功労者、優良団体を表彰している。</p>
<p>具体的な取組① 県スポーツ協会</p> <p>○スポーツ協会表彰を実施。スポーツ振興が図れるように表彰基準の見直しの検討を行う。</p>

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R3年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

<p>具体的な取組① 障害者社会参加推進室</p> <p>○これまで、「平成30年度 23名1団体、令和元年度 32名、令和2年度 9名、令和3年度 12名1団体」に表彰を実施している。</p> <p>→昨年度以降、国内外の各種スポーツ大会が新型コロナの影響で中止又は延期となった関係で表彰者が減少している。ただし、これらの大会が復活すれば表彰者は令和元年以前の規模に戻る見込み。今後とも優れた成績を残した県内選手等を顕彰していきたい。</p>
<p>具体的な取組① 体育保健課/生涯スポーツ</p> <p>○令和4年度 文部科学大臣表彰1名、生涯スポーツ功労者表彰3名、生涯スポーツ優良団体表彰2団体、30年勤続スポーツ推進委員表彰2名、九州地区スポーツ推進委員功労者8名、分県スポーツ推進委員功労者表彰16名を表彰している。</p> <p>→今後も、県民の多様なスポーツ活動の励みとなるよう、表彰の内容や顕彰制度の充実に努める必要がある。</p>
<p>具体的な取組① 県スポーツ協会</p> <p>○スポーツ協会表彰の実施。理事会において、表彰規定見直し検討委員会を設置を議決し、委員会実施予定。</p> <p>→今後の見直し検討委員会において、よりスポーツ振興につながる表彰規定の見直しを行う。</p>

基本目標Ⅲ	世界に羽ばたく選手の育成	担当所属	体育保健課 /スポーツ協会
分野別施策			
項目別テーマ(1)	競技力向上のための組織の整備・充実		

1. 具体的な取組及び関連事業【P L A N (計画)】

具体的な取組	①	競技団体や学校体育団体等の活性化			
	②	年代や競技の枠を越えた連携体制の整備			
R()点検・評価 で整理した 課題・改善点	①		④		
	②		⑤		
	③				
関連事業 (令和3年度)	事業名		予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	①	新チーム大分強化事業	128,655		
	②	スポーツ振興基金事業	19,798		

2. 令和3年度に実施した取組【D O (実行)】

具体的な取組①	体育保健課/競技力向上
○競技力を支える環境整備の推進として、競技用具の整備を実施した。平成20年大分国体開催に向けて競技用具を整備してから10年以上が経過し、耐用年数超や規格変更等があった競技用具を中心に令和2年度、3年度の2年間で整備した。高額特殊競技用具を中心としてボート艇、セーリング艇、カヌー艇やライフル射撃電子標的等の整備を実施した。	
具体的な取組①	県スポーツ協会
○年度当初に、強化指定校(高校)、強化指定団体(企業)、強化指定選手(個人)を委嘱し、競技力向上に努めている。競技団体から情報収集を行い、競技用具の整備を支援を実施している。研修会を実施して、組織体制の充実・強化を図っている。	
具体的な取組②	体育保健課/競技力向上
○大分県競技力向上スーパーコーチを活用して、若手指導者対象のコーチングセミナーを開催した。本県スポーツの次世代を担う指導者に対して、スーパーコーチによるコーチング哲学やメソッドを講演いただき、その後にスーパーコーチと参加した指導者によるディスカッションを実施。競技間を越えて意見交換し、指導者としての在り方を学ぶ機会を提供した。	
具体的な取組②	県スポーツ協会
○県選抜チーム等の取組を通じた各競技における世代に適した指導法や育成体制の整備を行っている。	

3. 目標指標の達成度【C H E C K (評価)】

目標指標	単位	基準値		R3年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【A C T I O N (改善)】

具体的な取組①	体育保健課/競技力向上
○競技団体のガバナンス強化の一環として、新チーム大分強化事業における補助金活用の適正執行に向けて、報告書、領収証等の監査を競技力向上対策本部事務局が実施した。	
→報告書及び領収書の保管状況については、適正に行われていた。今後については、事業事務説明会等で5年間保管の徹底や出納簿活用を促す。	
具体的な取組①	県スポーツ協会
○年度当初に強化指定を行い強化支援を行った。ヒアリング等を活用して、競技用具などの整備を行うことができた。事務局長会議・ガバナンス研修を実施して組織体制の充実・強化することができた。	
→今後も継続して、競技団体と連絡を密にとり、情報収集をすることが必要である。	
具体的な取組②	体育保健課/競技力向上
○県選抜チーム等の取り組みを通じたジュニア選手(小・中学生)の育成体制の整備を推進している。関係団体のジュニア選手育成事業の取り組みに対して、実施内容の指導や活動費を補助するなど支援している。	
ジュニア選手(小・中学生)の育成体制の整備については、各競技の特性に合わせて整備が進んでいる。今後の課題は、より適正なジュニア育成事業となるよう、大会参加や県外遠征等、効果的な年間計画の作成を指導する。	
具体的な取組②	県スポーツ協会
○新型コロナウイルス感染症の影響により、県選抜チームの活動自体が少なく、取組ができていない。	
→医学のデータ等を活用しながら、オンライン等を活用しての取組を実施することが必要である。	

基本目標Ⅲ	世界に羽ばたく選手の育成	担当所属	体育保健課 /スポーツ協会
分野別施策			
項目別テーマ	(2) 競技力向上に向けた指導体制の充実・強化		

1. 具体的な取組及び関連事業【P L A N (計画)】

具体的な取組	①	公認スポーツ指導者資格の取得を通じた指導者の育成と資質の向上			
	②	強化拠点となる学校への適切な指導者の配置			
	③	競技者から指導者への好循環サイクルの構築			
R()点検・評価 で整理した 課題・改善点	①			④	
	②			⑤	
	③				
関連事業 (令和3年度)		事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	①	新チーム大分強化事業	128,655		
	②	スポーツ振興基金事業	19,798		

2. 令和3年度に実施した取組【D O (実行)】

具体的な取組①	体育保健課/競技力向上
○日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の取得を推進している。特に国体監督に必要な資格取得については、候補者に対して資格取得を促し、専門知識の習得につながるよう取り組んでいる。	
具体的な取組①	県スポーツ協会
○養成・更新研修を実施した。	
具体的な取組②	県スポーツ協会
○競技団体へのヒアリングを実施して情報収集を行い、県体育保健課への情報提供、協議を実施した。	
具体的な取組③	体育保健課/競技力向上
○ジュニア発掘事業の中で、現役選手がジュニア選手を対象に、直接指導する機会を設けた。ジュニア選手にとっては、現役選手の動きを見て学ぶ機会となり、また現役選手にとっても指導を体験することで、引退後に指導者への道を選択する機会となるよう取り組んでいる。	
具体的な取組③	県スポーツ協会
○競技団体からヒアリングを行い、選手・指導者として大分県で活躍できる人物の情報収集を行う。	

3. 目標指標の達成度【C H E C K (評価)】

目標指標	単位	基準値		R3年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
人口1万人当たりの公認指導者資格登録数	人	R2	18.8	20.1	21.0	104.5	◎	R12	23.6	競技力向上対策班

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【A C T I O N (改善)】

具体的な取組①	体育保健課/競技力向上
○昨年度に続き、全国的な新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、公認スポーツ指導者の新規研修会を、中止する競技団体があった。特に実技を伴う研修講座等が開催できず、公認資格取得ができない状況もあった。	
→指導者については常に学び続けることが重用であることから、公認スポーツ指導者研修が中止された競技については、指導力向上に向けてオンライン等で実施される研修等に参加することを促す。	
具体的な取組①	県スポーツ協会
○スタートコーチとバレーボール競技の指導者養成講座を実施した。新型コロナウイルス感染症感染者が増えたため、軟式野球など養成講習会が中止となった。資格更新のための、講習会も実施した。	
→新型コロナ感染症拡大防止のために中止・延期になった研修会の実施について検討する必要がある。	
具体的な取組②	県スポーツ協会
○競技団体からの要望書を取りまとめ、県体育保健課への情報提供を行い、配置に向けて協議を行った。	
→今後も競技団体と連絡を取り、状況把握に努める。	
具体的な取組③	体育保健課/競技力向上
○現状では、小中高の教員がスポーツ指導者を担っている割合が大きい。しかしながら、教員採用数も減少傾向にあり、教員以外の地域人材の活用に取り組んでいる。	
→教員以外の指導者確保ができるかが課題である。アスナビ就職支援事業により企業就職しているアスリートに対して、引退後に指導者に移行できるよう支援することが必要である。そのためにも、アスリートにも指導の体験ができるよう取り組むことが今後必要である。	
具体的な取組③	県スポーツ協会
○競技団体からヒアリングを行い、選手・指導者として大分県で活躍できる人物の情報収集を行った。得られた情報を体育保健課に情報提供し、「大分アスナビ」へと繋げた。	
→企業への理解・協力を広めていく必要がある。	

項目別テーマ進行管理表

【様式1】

基本目標Ⅲ	世界に羽ばたく選手の育成	担当所属	体育保健課 /スポーツ協会
分野別施策			
項目別テーマ	(3) 競技力向上に向けた発掘・育成・強化の推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	①	ジュニア世代を対象としたスポーツ体験機会の拡大			
	②	関係団体と連携した一貫指導体制の構築			
	③	関係団体と連携した強化事業の充実			
R()点検・評価 で整理した 課題・改善点	①			④	
	②			⑤	
	③				
関連事業 (令和3年度)		事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	①	新チーム大分強化事業	128,655	④	
	②	スポーツ振興基金事業	19,798	⑤	
	③			⑥	

2. 令和3年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○地域のスポーツ団体等と連携した競技体験教室や、普及振興を目的とした各種大会に取り組んだ。中でも、津久見市スポーツ協会はキッズチャレンジ事業として、日本トップリーグ連携機構に所属するアスリート等を招聘した体験教室も実施した。</p>	体育保健課/競技力向上
<p>具体的な取組①</p> <p>○ジュニア選手の発掘に向けた事業を実施する。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組②</p> <p>○コロナ禍の取り組みとして、ICT活用による強化事業に取り組んだ。東京在住の優秀指導者が選手に対し、オンラインで技術指導や動作分析を実施した。事前に優秀指導者が選手の競技動画を確認し、それに対して個別の指導を実施した。</p>	体育保健課/競技力向上
<p>具体的な取組②</p> <p>○中・長期計画で選手育成計画を実施している競技団体と連携し、これまで高校生以上を対象とした医科学事業を中学生で実施する。タブレットを活用した講義・研修会を実施する。</p>	県スポーツ協会
<p>具体的な取組③</p> <p>○大分県スポーツ協会と連携し、全国で活躍できる可能性のある団体や個人に対して、大会や強化合宿、県外遠征等の経費に対して補助し、効果的な選手育成を図った。</p>	体育保健課/競技力向上
<p>具体的な取組③</p> <p>○競技団体とのヒアリングを実施し、拠点チームや団体、個人を把握した上で強化事業を実施する。</p>	県スポーツ協会

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R3年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
国際大会出場者数	人	R1	32.0	20.0	29	145.0	◎	R12	60.0	競技力向上対策班

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

具体的な取組①

体育保健課/競技力向上

- 優れた資質を有するジュニア選手を発掘するため、全県下の小学6年生を対象に、ジュニアアスリート発掘事業に取り組んだ。対象6競技(カヌー・ボート・ライフル射撃・ウエイトリフティング・ホッケー・アーチェリー)の競技体験を年間12回実施した。

→ジュニアアスリート発掘事業の対象選手以外にも、競技団体主催のアカデミーに参加できるよう広報し参加を促す。

具体的な取組①

県スポーツ協会

- 未経験者が新しい競技を体験する機会をつくるため、競技団体・市町村が行うジュニア発掘支援事業を支援した。

→新型コロナウイルス感染症の影響により、中止を余儀なくされる事業が数事業あった。開催時期や方法の再検討が必要である。

具体的な取組②

体育保健課/競技力向上

- 関係団体と連携して、ジュニア選手の育成をはじめとする一貫指導体制の構築に取り組んだ。各競技毎に、年齢に応じた年間育成計画を作成し、計画的に選手育成に取り組んだ。

→課題は指導者の確保である。競技特性に応じて一貫指導体制の構築に取り組んでいるが、年代に応じた適正な指導者数の確保が必要である。参加選手数及び練習内容を踏まえ、適正な指導者数で実施できるよう指導者の確保を支援する。

具体的な取組②

県スポーツ協会

- 中・長期計画で選手育成計画を実施している競技団体と連携し、これまで高校生以上を対象としていた医科学事業を中学生も対象として実施した。県立学校に配置されている生徒のタブレットを活用して医科学の研修を実施した。また、栄養指導においてもタブレットを活用した指導に取り組んでいる。

→一貫指導体制を長期間実施している競技団体数が少ないため、好事例数も少ない。この数年で取組を始めた競技団体もあるので、事例として活動を他の競技団体へ提供する必要がある。

具体的な取組③

体育保健課/競技力向上

- 優秀指導者を招聘しての選手育成やJOCエリートアカデミー事業に才能あるジュニア選手をエントリーするなど、中央競技団体と連携した選手育成に取り組んだ。

→中央競技団体の作成した競技者育成プログラム等の活用について、指導者に対して更なる普及啓発を推進する。

具体的な取組③

県スポーツ協会

- 競技団体とのヒアリングを実施し、拠点チームや団体、個人を把握した上で強化事業を実施した。また、必要に応じて、競技団体より申し出のあった強化事業については事業効果を見極め、支援を行った。

→新型コロナウイルス感染症の影響により、思うような活動ができなかった競技団体が多くあった。ICTを活用した強化方法、スポーツ医学を活用した強化方法などを更に推し進めて行く必要がある。

項目別テーマ進行管理表

【様式1】

基本目標Ⅲ	世界に羽ばたく選手の育成	担当所属	体育保健課 /スポーツ協会
分野別施策			
項目別テーマ	(4) 競技力向上に必要な諸条件の整備		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	①	スポーツ医科学の知見等を活用した支援体制の整備			
	②	アスリートが継続的に活動できる就職支援			
	③	広報活動の推進			
R()点検・評価 で整理した 課題・改善点	①			④	
	②			⑤	
	③				
関連事業 (令和3年度)		事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	①	新チーム大分強化事業	128,655	④	
	②	スポーツ振興基金事業	19,798	⑤	
	③			⑥	

2. 令和3年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組① 体育保健課/競技力向上</p> <p>○ 競技団体の強化事業については、スポーツドクターやトレーナー等を活用した。スポーツ医科学の知見の活用を推進し、スポーツ障害・傷害予防に取り組んだ。</p>
<p>具体的な取組① 県スポーツ協会</p> <p>○ 各競技団体における医科学担当者への研修会、スポーツ少年団指導者に対するスポーツ障害・傷害防止に関する研修、ドーピング防止研修などを実施。優秀指定選手を対象としたサポート事業実施。</p>
<p>具体的な取組② 体育保健課/競技力向上</p> <p>○ 県内の経済団体と協力しトップアスリートの就職支援に取り組んだ。企業を集めての説明会は実施できなかったが、ホームページを通じて、就職希望アスリートの紹介等を実施し、2名の採用が内定した。</p>
<p>具体的な取組② 県スポーツ協会</p> <p>○ 年度当初の企業訪問を実施する中で、県内で活動したい選手の情報を企業へ提供するとともに、雇用の協力を行っている。</p>
<p>具体的な取組③ 体育保健課/競技力向上</p> <p>○ 大分県選抜チーム・選手の強化事業等を、SNS(フェイスブック 競技力向上対策本部公式)を活用してタイムリーな情報発信に取り組んでいる。</p>
<p>具体的な取組③ 県スポーツ協会</p> <p>○ 本会ホームページやインスタグラムを活用して広報を行っている。</p>

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R3年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

具体的な取組①

体育保健課/競技力向上

- スポーツドクターやドレーナーの活用は広がりを見せているが、競技団体内にスポーツ医科学委員会等の設置まで至っていない現状がある。

→ 競技団体は強化事業毎にトレーナー等を活用しているが、更に組織的にスポーツ医科学を活用するために、競技団体内にスポーツ医科学委員会等の設置を促す。

具体的な取組①

県スポーツ協会

- 各競技団体における医科学担当者への研修会、スポーツ少年団指導者に対するスポーツ障害・傷害防止に関する研修、ドーピング防止研修などを実施した。「優秀選手サポート事業(採血)」・「タイトネスチェック」も実施することができた。

→ 新型コロナウイルス感染症の影響により、「タイトネスチェック」事業の進捗が遅れている。研修会に関してはオンデマンドなどを活用して実施することができた。今後も感染状況を見極めながら研修会の開催方法の検討が必要である。

具体的な取組②

体育保健課/競技力向上

- トップアスリートの採用後のフォローについては、アスナビ交流会を通じて企業担当者と採用されたアスリートの研修会に取り組んでいるが、コロナ渦において開催できていない現状がある。

→ コロナ渦では、企業担当者や採用されたアスリートを集めての研修開催は難しいため、アンケート調査の実施や個別に連絡をとるなど、情報交換を通してフォローに取り組む。

具体的な取組②

県スポーツ協会

- 年度当初の企業訪問を実施する中で、県内で活動したい選手の情報を企業へ提供するとともに、雇用の協力を行った。

→ スポーツ選手の雇用について、理解・協力を広めていく必要がある。

具体的な取組③

体育保健課/競技力向上

- 県内在住のアスリートについては、大会結果や取り組みをタイムリーに広報できているが、県外在住の本県ゆかりのアスリートの情報を、タイムリーに広報できていない現状がある。

→ 競技団体との連携を密にし、県外に在住している本県ゆかりのアスリートの情報を早期に収集できるよう取り組む。

具体的な取組③

県スポーツ協会

- 本会ホームページやインスタグラムを活用して広報を行った。

→ 今後もタイムリーにホームページ等を使い、情報提供を行っていく。

基本目標	IV	スポーツによる地域の元気づくり	担当所属	芸術文化スポーツ振興課
分野別施策				
項目別テーマ	(1)	国際スポーツ大会等の誘致		

1. 具体的な取組及び関連事業【PLAN(計画)】

具体的な取組	①	大分スポーツ公園総合競技場等を活用した国際スポーツ大会等の誘致			
	②	国際スポーツ大会等の事前キャンプの誘致と受け入れ			
	③	キャンプ受入国との継続的な交流の推進			
R()点検・評価で整理した課題・改善点	①			④	
	②			⑤	
	③				
関連事業 (令和3年度)		事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	①	ラグビーワールドカップ2019レガシー継承事業	39,830	③ 国際スポーツ大会誘致推進事業	215,008
	②	国際スポーツ大会誘致推進事業	215,008		

2. 令和3年度に実施した取組【DO(実行)】

<p>具体的な取組① 芸術文化スポーツ振興課</p> <p>○10月にはラグビー国際試合日本対オーストラリア代表戦が開催されただけでなく、ラグビートップチームの試合が2022シーズンに2試合開催予定である。</p>
<p>具体的な取組② 芸術文化スポーツ振興課</p> <p>○東京2020オリンピック事前キャンプでは、6か国の選手受け入れを大分市、日田市で行ったほか、ラグビー日本代表においては別府、日田で複数回事前キャンプを行うなど、継続した関係の構築もできている。</p>
<p>具体的な取組③ 芸術文化スポーツ振興課</p> <p>○佐伯市はホストタウンであるベトナムのパラパワーリフティングの選手と中学生がオンラインでの交流を行った。また、フィジーの東京2020オリンピック事前キャンプを受入れた大分市でも、小中学生がオリンピックとオンラインで交流した。</p>

3. 目標指標の達成度【CHECK(評価)】

目標指標	単位	基準値		R3年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【ACTION(改善)】

<p>具体的な取組① 芸術文化スポーツ振興課</p> <p>○令和4年4月に東都大学野球リーグが別大興産スタジアムで開催される。</p> <p>→大分県スポーツ合宿誘致推進協議会で情報共有しながら、継続して誘致活動を行う。</p>
<p>具体的な取組② 芸術文化スポーツ振興課</p> <p>○令和3年度に14件のスポーツ合宿を誘致し、住民等との交流の場を設けるなどの取組を行った。</p> <p>→引き続き、大分県スポーツ合宿誘致推進協議会で連携しながらスポーツ合宿の誘致に取組む。</p>
<p>具体的な取組③ 芸術文化スポーツ振興課</p> <p>○新型コロナウイルスの影響で、直接的な交流は困難であるが、オンライン等での交流はできている。</p> <p>→引き続き、ホストタウン登録している16か国との交流を進めていく。</p>

基本目標Ⅳ	スポーツによる地域の元気づくり	担当所属	芸術文化スポーツ振興課
分野別施策			
項目別テーマ(2)	スポーツ文化の定着とスポーツツーリズムの推進		

1. 具体的な取組及び関連事業【P L A N (計画)】

具体的な取組	①	国際スポーツ大会等の観戦や県民参加機会の創出	④	スポーツツーリズムの推進		
	②	市町村と連携した合宿チームへの支援と交流機会の拡大				
	③	まちづくりや地域活性化の核となるスタジアムの実現				
R()点検・評価で整理した課題・改善点	①		④			
	②		⑤			
	③					
関連事業(令和3年度)		事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)	
	①	スポーツによる大分魅力創生事業	52,188	③	スポーツによる大分魅力創生事業	52,188
	②	スポーツによる大分魅力創生事業	52,188			

2. 令和3年度に実施した取組【D O (実行)】

具体的な取組①	芸術文化スポーツ振興課
○国際スポーツ大会としてラグビー日本代表戦を開催した。あわせて、ラグビーや野球、陸上競技など、トップチームが合宿を実施し、児童・生徒等と交流した。	
具体的な取組②	芸術文化スポーツ振興課
○大分県スポーツ合宿誘致推進協議会で、ラグビーなど14件のスポーツ合宿の受入れ、住民等と交流した。	
具体的な取組③	芸術文化スポーツ振興課
○ラグビー日本代表戦では、交通渋滞を避けるためシャトルバスの運行を行ったほか、県警などの関係機関と連携し渋滞対策を実施し、大きな交通渋滞は発生しなかった。また、大分スポーツ公園東駐車場をアーバンスポーツエリアと開放し、新たな集客に努めている。	
具体的な取組④	芸術文化スポーツ振興課
○スポーツ施設や宿泊施設、観光情報等を一元的に発信する「スポ泊!おおいた」を運用し、スポーツツーリズムを推進した。	

3. 目標指標の達成度【C H E C K (評価)】

目標指標	単位	基準値		R3年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
合宿等受入人数	人	R1	63.172	75.000	24.000	32.0	×	R12	90.000	芸術文化スポーツ振興課

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【A C T I O N (改善)】

具体的な取組①	芸術文化スポーツ振興課
○令和4年度は東都大学野球リーグ、令和5年度はツール・ド・九州2023を開催する。スポーツ合宿についても、継続して国内外のトップチームの誘致する。	
→大分県スポーツ合宿誘致推進協議会で情報共有しながら、継続して誘致活動を行い、住民等との交流を推進する。	
具体的な取組②	芸術文化スポーツ振興課
○ラグビー日本代表の合宿を受け入れるなど、ラグビーの合宿地としての認知度は向上している。	
→大分県スポーツ合宿誘致推進協議会で情報共有しながら、ジャパンラグビーリーグワン等に所属するトップチームに継続して誘致活動を行う。	
具体的な取組③	芸術文化スポーツ振興課
○大分トリニータや横浜キャノンイグルスなどと連携して、交通渋滞等が発生しないよう、情報共有を図っている。	
→引き続き、チームや県警等の関係機関と情報共有を図っていく。また、アーバンスポーツエリアの認知度を高めるため、施設管理者等と意見交換していく。	
具体的な取組④	芸術文化スポーツ振興課
○スポ泊!おおいたの認知度を高められるような取り組みが必要である。	
→令和4年度はSNS等を活用したターゲティング広告を行えるよう、スポ泊!おおいたをリニューアルする。	

基本目標	IV	スポーツによる地域の元気づくり	担当所属	芸術文化スポーツ振興課
分野別施策				
項目別テーマ	(3)	ラグビーワールドカップ2019のレガシー継承		

1. 具体的な取組及び関連事業【P L A N (計画)】

具体的な取組	①	ラグビー文化の定着			
	②	大分で試合を行った国・地域とのつながりを活かした取組の推進			
	③	世界トップクラスの国際試合等の誘致			
R()点検・評価で整理した課題・改善点	①			④	
	②			⑤	
	③				
関連事業 (令和3年度)		事業名	予算額(千円)	事業名	予算額(千円)
	①	ラグビーワールドカップ2019レガシー継承事業	39,830	④	
	②	ラグビーワールドカップ2019レガシー継承事業	39,830	⑤	
	③	ラグビーワールドカップ2019レガシー継承事業	39,830	⑥	

2. 令和3年度に実施した取組【D O (実行)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ 幼稚園・小学校等を対象としたタグラグビー教室や未経験者を対象としたラグビー体験会を開催したほか、大分市で行われた歩行者天国でも体験コーナーを設けるなど、ラグビー文化の定着を進めた。</p>	芸術文化スポーツ振興課
<p>具体的な取組②</p> <p>○ 大分で試合を行ったウェールズとの交流事業を継続しているほか、記念モニュメントやメモリアルギャラリーをラグビーワールドカップ2019大会のレガシーとして観光情報サイト「沸騰大分」やレガシー動画で紹介した。</p>	芸術文化スポーツ振興課
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 10月にはラグビー国際試合日本対オーストラリア代表戦が開催されただけでなく、ラグビートップチームの試合が2022シーズンに2試合開催予定である。</p>	芸術文化スポーツ振興課

3. 目標指標の達成度【C H E C K (評価)】

目標指標	単位	基準値		R3年度			達成度	最終目標		担当所属
		年度	基準値	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a		年度	数値	
設定なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4. 現状認識及び今後の課題・改善点【A C T I O N (改善)】

<p>具体的な取組①</p> <p>○ ラグビー文化の定着に向けて、幼稚園児や小学生など子ども達がラグビーに触れる機会を創出していく必要がある。</p> <p>→ 今後ともタグラグビー教室やラグビー体験会、大分で合宿を実施するトップチームとの交流などを通して、ラグビー人口につなげていく。</p>	芸術文化スポーツ振興課
<p>具体的な取組②</p> <p>○ ワールドカップで来県した国や地域との交流を継続していく必要がある。</p> <p>→ ラグビーだけでなく、芸術文化などでも継続して交流を実施していく。</p>	芸術文化スポーツ振興課
<p>具体的な取組③</p> <p>○ 今後ともラグビーワールドカップ2019の開催実績を活かし、国際試合の開催を目指す。</p> <p>→ (公財)日本ラグビーフットボール協会等の関係機関に国際試合の開催に向けて、打診していく。</p>	芸術文化スポーツ振興課